



国際ロータリー第2510地区・DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL

2002-2003 GOVERNOR'S MONTHLY LETTER No.10

# ガバナー月信

4月号  
April

2002-2003年度ガバナー GOVERNOR 小林 博 KOBAYASHI HIROSHI

〒060-0042 札幌市中央区大通西6丁目北海道医師会館6F 電話 011-219-2510 Fax 011-222-1526 E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp  
Odori-West 6, Ishikai Bldg. 6F, Chuo-ku, Sapporo, Hokkaido, 060-0042 Japan Tel.81-11-219-2510 Fax.81-11-222-1526  
E-mail:scs-hk@phoenix-c.or.jp



# ガバナーレター



小林 博

## ロータリーの友と地区月信

ロータリーの機関誌の真の愛読者は、会員の1割にも満たないという話を聞いたことがある。何とも寂しい数字ではないだろうか。4月は雑誌月間である。ロータリーの機関誌『The Rotarian』（英文）と公認の地域雑誌『ロータリーの友』に対する読者の関心を喚起することが雑誌月間の任務である。

地区内には『ガバナー月信』（Governor's Monthly Letter）がある。『ガバナー月信』は本来RIからの伝達事項あるいはガバナーからのメッセージを会長幹事を介して会員諸氏にお伝えするという、いふなればトップダウンの情報伝達誌である。ところが今年度のピチャイ・ラタクルRI会長はこれからのロータリーは「トップダウン」だけではなく、むしろ一人ひとりのロータリアンの隠れたエネルギーを上を持ち上げる「ボトムアップ」がなければならないと言っている。このような将来を見据えた考えから、2510地区では『ガバナー月信』をトップダウンだけでなくロータリアン全員の率直な意見交換の場としたいと考え、その方向で努力を重ねてきたところである。この意味で『ガバナー月信』は地区月信（District Monthly Letter）というべきものである。『ロータリーの友』ともども是非ご購読をおすすめ致したい。

「地区月信」発行のためには月信編集委員会が組織され、出来るだけ一般会員の声を聞くようにつとめている。この月信に対する地区の経済的バックは決して十分なものではないが、限られた費用に見合った成果をあげていると皆様からお認めいただけるようであれば、これは非常に嬉しいことであり、また大きな慰めであり励みでもある。

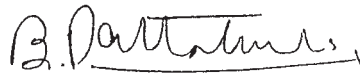
いまや「地方分権化の時代」である。「地区月信」といふなれば「地区におけるロータリーの友」と理解したい。しかも「地区月信」がロータリーの友にはないような地区内の身近な問題を存分に取り上げることで、地区のロータリークラブの活性化に役立つようになることを期待している。

最後に将来への小さな夢を申し上げてみたい。それは地区のロータリーの友委員と地区の月信委員とが手を取り合うことが出来ないだろうかということである。そのための恒久的な組織を作り他地区にも模範となるような月信（コミュニケーション誌）を作っていけないものか。受身ではなく積極的に自らが「自らの地区月信」を作っていくエネルギーをこの地区に期待したいのである。

## 目次

ガバナーレター	小林 博	2	2002年度米山奨学生歓送会	20
ラタクルRI会長メッセージ		3	ワークショップの予定	20
文庫通信		3	米山財団への寄付状況一覧表	21
雑誌月間について	山名 善久	4	クラブ活動紹介	22
地区委員会前期活動報告		5	札幌東RC・江別西RC・えりもRC・栗山RC	
世界社会奉仕委員会・親睦活動委員会・広報委員会			岩見沢東RC・札幌はまなすRC	
ロータリーの友委員会・ローターアクト委員会・GSE委員会			会員の声	25
補助金委員会・米山記念奨学委員会			北川敏夫(札幌はまなすRC)・高井悌吉(札幌はまなすRC)	
地域社会共同隊(RCC)について		6	掲示板	26
ガバナー日記		7	第7回「ロータリー日韓親善会議」開催のご案内	26
ロータリーQ&A		10	第2回ロータリー囲碁全国大会のご案内	26
ガバナーとの対話		10	訃報	26
アンケート調査の結果と分析(第2回)		15	事務所だより	26
地区活動紹介		18	1月会員増減数・出席率報告	27
竹原 巖・友情交換委員会・川田憲秀			4・5月地区カレンダー	27

# ラタクルRI会長メッセージ



Bhichai Rattakul (ビチャイ・ラタクル)  
国際ロータリー会長

2月に世界理解月間を祝いながら、私は、この月がいかに重要であるかをロータリアンの皆さんにじっくりと考えていただきたいと願っております。ロータリアンとして、私たちは全員が平和と国際理解の推進という目標を共有しています。私たちはこの目標に向かい、様々な方法で努力しています。この世の苦しみを和らげる人道的奉仕プロジェクト、異なる文化の中で育った人々を結び、友情を育む交換プログラム、そして明日の外交官や調停者を教育する平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー・センターは、この目的を果たすための手段です。

創始者ポール・ハリスの言葉に、「戦争に至る道は、よく舗装されたハイウェイです。平和への道は未だに茨の道です」とあります。世界中で緊張が高まりつつある今日、私たちの多くは、次第に膨れ上がってゆく恐怖と増悪の生い茂る中で身動きできずに、その荒野の中で途方に暮れているのです。しかし、このように不安定な時期にこそ、ロータリアンとしての活躍が強く求められるものです。この2月、世界の人々の間の対立を煽るような誤解や歪んだ社会通念を打ち砕くために、私たちはこれまでの2倍、努力しなくてはなりません。そして、これまで以上に、相違ではなく、私たちが置かれている共通した状況に焦点を当てるべきです。

世界中の人々は共通した目的を持っているにもかかわらず、ときに私たちはみな何らかの形で繋がっているのだという事に気付かずにいることは、なんと悲しいことでしょうか。一人の状況が改善されれば、世界全体がその恩恵を受けるのです。ロータリーだけでなく、私たちの職業生活、個人生活を通じて、同じ目的を遂げ、国々、人種、文化、信仰、民族を恐るべき勢いで分裂させるその相違を繋ぎ合わせるために、私たちは専心しようではありませんか。

164カ国に存在し、いくつもの言語を話し、多様な信仰を抱えるロータリアンは、まるで世界の小宇宙のように映りますが、たった1つ大きな違いがあります。それは、ロータリーが寛容と理解と慈愛に満ち溢れた平和な小宇宙であることです。この国際理解と親善というロータリーの手本を、世界全域に広めたいものです。憎しみや争いや暴力が広がりそうなどころには、ロータリアンに慈愛の種を播いてもらいましょう。

世界理解月間実施中に平和と親善を推進するためにご尽力いただけるよう、この私のメッセージを是非貴クラブならびに貴地区のすべてのロータリアンに伝えていただければ幸いです。

## 文庫通信

186号

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」も備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

### 興味深い資料から

- ◎「泥中の蓮—ビチャイ・ラタクルR・I会長のロータリー思想—」  
佐藤千壽 2002. 12 (D.2790地区大会講話)
- ◎「地域社会でのロータリーイメージ強化」 中野重宏他 2001 16p  
(D.2650IMフォーラム)
- ◎「教育 家庭で出来ること 学校で出来ること 地域社会で出来ること」 藤川享胤他 2002 2p (D.2770地区大会シンポジウム)
- ◎「フレッシュロータリアンと語ろう」 岩崎敏夫他 2002 11p  
(D.2840地区大会パネルディスカッション)

- ◎「地域のなかで 私とボランティア」 星野和央 1996 73p  
[申込先: 星野和央 FAX (048) 834-1923]
- ◎「会員増強と退会防止を考える。」 小船井修一 2002 6p
- ◎「フォーラム 「女性会員増強について」 土井口勝他 2002 22p  
(D.2720地区大会)
- ◎「ロータリーの会報は会員の行動そのもの」 三浦福好 2002 1p  
[上記申込先: ロータリー文庫 (コピー)]

### ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F  
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

私が地区委員として「ロータリーの友」委員を担当しておりました時、4月の雑誌月間に地区内クラブからスピーチの依頼がありました。

幾つかのクラブでスピーチをしましたが、その折必ず決まってクラブ雑誌委員長から「雑誌委員会はどのような活動をすればいいのか？」という質問がありました。

皆さんは何をしていいのかわからないので、一応手続要覧を参考に活動をしている、とのことでした。

手続要覧に書かれている内容はと言うと、この委員会は

1. ロータリアン誌に対する読者の関心を喚起する。
2. 雑誌月間を主催し、クラブの例会プログラムにおいて毎月雑誌の簡単な紹介を手配する。
3. 新会員の教化に雑誌を利用することを奨励する。
4. ロータリアンでない講演者に雑誌を贈呈する。
5. 図書館、病院、学校、その他の図書閲覧室のために、国際奉仕並びにその他の特別購読を取り計らう。
6. ニュース資料と写真を雑誌編集者に送る。
7. その他、あらゆる方法によって雑誌を本クラブ会員およびロータリアン以外の人々に役立てるものとする。

以上のようなことが書かれています。

でも、本当にこのような活動でいいのだろうか？という疑問が私にはありました。

「ロータリーの友」誌の存在意義、存在目的はこのような簡単なものではないと考えます。勿論、手続要覧に書かれている活動も確かに必要でしょう。

しかし、手続要覧に書かれている内容は、単なる表面的な活動資料としか思えません。

手続要覧に書かれている文章の奥の奥を考えていくと、二つの言葉が浮かんできました。それは、会員増強とクラブ活性化という二つの言葉です。

私は現在、札幌南ロータリークラブの雑誌委員長を務めています。

私は、今年度雑誌委員会の活動計画の一つに、  
——各委員会の協力をいただいて、比較的入会の浅い会員に対して「友」誌に掲載された記事の感想および意見をクラブ例会で発表していただく——発表する人が所属する委員会に関連した記事を読んでいただくのが基本ですが——  
このような計画を立てました。

なぜかと申しますと、

クラブ内で、1人でも二人でも「友」誌を真剣に読まなければならない状況を作ろうと考えました。

案の定、指名された人は、「友」誌を数冊読み漁ったと聞いております。

また、入会間もない会員はロータリーに対して、新鮮な目を持っています。ある程度ロータリーを経験している人では気づかない目を持っているということです。

そして、「友」誌を読むことにより、ロータリーの理解を深めることができるのは当然のことです。

次に、ロータリーをある程度経験されている方は、新会員のスピーチを聴くことにより、ロータリーを再確認・再認識する機会を得る事ができます。

ロータリーは刻一刻と変化しています。5年前・10年前・20年前のロータリーの価値観と、今のロータリーの価値観とは違うことを私達は理解しなければいけないと思います。更にクラブ例会時に、新会員が友を読んでロータリーのことを話すわけですから、クラブ会員と一緒に、同じロータリーの事柄に対して考える場をなんとか作りたいと考え、この活動計画を立てました。

ここで大切なことは、クラブ会長・幹事、プログラム委員会、そして、各委員会委員長に、この目的、主旨をよく理解していただくということです。皆さんの理解無くして、この計画は、絶対に成果を得る事ができません。

要は、雑誌委員会単独での活動では活動できることが限られています。

ロータリーのあらゆる委員会の事柄に対する記事が掲載されている「ロータリーの友」誌だからこそ、「友」誌を担当する雑誌委員会だからこそ、クラブ内全委員会をも巻き込んだ活動が可能と考えます。

勿論、今私がお話した事以外にも、多くの活動方法はあると思いますが、

## 結論：

1. クラブ雑誌委員会は、会長・幹事をはじめ、そのクラブの全委員会と連携して活動を行うことが必要である。  
——クラブの活性化を求め——
2. クラブの各奉仕委員会の役割・任務、そして、その委員会の存在目的を会員に認識、理解していただくために「友」誌がある。  
——そのために「友」誌を活用する。——  
——勿論、委員会の活性化につながる——委員会の活性化はクラブの活性化にもつながる——
3. 新入会員に対して、ロータリーの「いろは」を理解していただくために「友」誌がある。  
——これに連動してロータリーに対し、理解・認識が深まれば、会員の退会防止にもつながる——  
——さらには、ロータリーに対する理解が深まれば、会員推薦等会員増強の一助にもなる——
4. 他地区・他クラブとの比較ができる。  
他クラブとの活動比較。クラブの弱点を発見することができる。

以上のような効果を期待することができる。

**総論：**クラブ雑誌委員会の存在目的を雑誌委員会の委員が、明確に理解することが重要。そして、その存在目的を会長・幹事及び各委員会に対し、理解促進を目的とした活動が必要。——結果「友」誌は自然と愛読されるようになり、先ほど申し上げた諸々の効果を期待することができるのではないかと考えます。

# 地区委員会前期活動報告

2002.7~2002.12



世界社会奉仕委員会 委員長 土倉裕之(札幌東)

- ・ミャンマー（ヤンゴン）孤児院資金援助（札幌東RC）
- ・スリランカ医療施設に中古ベッド・マットレス寄贈（札幌南RC・コロomboRC）
- ・スリランカ医療施設に中古ベッド寄贈（千歳RC・千歳セントラルRC・コロomboRC）
- ・インドネシア、スンバラン村、図書館建設（新札幌RC）
- ・WCS卓話（新札幌RC）



親睦活動委員会 委員長 植田英隆(札幌)

- ・ヨットの国際交流組織IYFRの交流会、小樽、札幌で開催されたものへの委員会としての協力。
- ・ゴルフの全国交流の道内ゴルフ会、開催にあたり挨拶。
- ・スキーの国際交流組織ISFRとの連絡活動。
- ・地区大会関連の囲碁大会が開催、連絡受け参加。



広報委員会 城木浩一(札幌北)

前期委員長より引継ぎを受け、委員会で検討した事業を進めている。

- 各クラブから事業計画をお聴きし、地区奉仕活動事例集を作成する予定だが、資料の集まりがはかばかしくありません。後半に向けて更なるお願いの呼び掛けを致します。
- ペット、地区大会等にて広報強化のお願いをした。
- ポリオ撲滅の広報として、RIからのポリオ関連資料を各クラブへお送りした。更に会長・幹事様へのお手紙や月信を通じて広報に努めている。3年計画で、ロータリー創立百周年までにポリオの撲滅を達成し

たいのだが、今まで手の届かなかった地域の子供達が一人でも多く救われれば、と願っている。



ロータリーの友委員会 委員長 佐藤 公(札幌北)

- ・第1回 ロータリーの友委員会  
7月13日（土） 於：まるいち事務所  
「雑誌委員会」名称変更について 等
- ・第2回 ロータリーの友委員会  
11月28日（木） 於：ガバナー事務所  
「雑誌委員会会議」開催の件 等
- ・第3回 ロータリーの友委員会  
2月3日（月） 於：ガバナー事務所  
情報関連委員会ワークショップ開催の件 等



ローターアクト委員会 委員長 中塚 力(岩見沢)

- ・地区キャンプ交流会 留萌
- ・地区セミナー 函館
- ・ライラセミナー 札幌
- ・留萌RAC 30周年 留萌
- ・RA地区協議会 赤平
- ・第1回北海道ローターアクト交流会 釧路  
地区行事も予定通り消化しており特に本年度はアクト会員の積極的な活動が目につきます。



GSE委員会 委員長 山名善久(札幌南)

- ・毎月定例委員会開催
- ・RI3830地区派遣GSEチーム受入れ準備会議を毎月開催
- ・受入れに関わるコーディネーター説明会議を10月に開催
- ・10月16日～11月20日フィリピン3830地区派遣GSE

チームを受入れる。

地区大会にGSEチームメンバーと地区委員の参加受入れに関わる反省会を開催

- ・次年度フィリピン3830地区へ派遣する団員の選考試験を実施。

4名のメンバー決定



補助金委員会 委員長 伏木忠了(札幌西)

- ①委員会開催 3回
- ②ガバナー月信に補助金申請のPRを2度
- ③第1ゾーン～第4ゾーンA  
ロータリー財団地域セミナー(11月28日)に出席
- ④静内RCより財団月間に卓話の依頼あり、服部委員補助金申請についてスピーチ



米山記念奨学委員会 戸井敏夫(札幌南)

米山奨学制度への理解と寄付増進を図るため、次の活動を行いました。

1. 委員会  
第1回 2002年10月26日(土)  
札幌ルネッサンスホテル
2. 米山奨学生懇談会(46名出席)  
2002年10月26日(土) 17時30分～  
(札幌ルネッサンスホテル)
3. 例会卓話(米山月間)  
2002年10月1日(火) 深川RC 米山奨学生 羅敏耀  
2002年10月3日(木) 滝川RC 米山奨学生 李英愛  
2002年10月3日(木) 千歳RC 米山奨学生 王云  
2002年10月7日(月) 札幌南RC  
米山委員長 戸井敏夫  
2002年10月9日(水) 恵庭RC 米山奨学生 趙松吉  
2002年10月10日(木) 苫小牧東RC  
米山委員長 戸井敏夫
4. 地区RYLAセミナー  
(戸井委員長・米山奨学生8名出席)  
2002年9月21日(土)～22日(日)(JR研修センター)
5. 地区大会(米山奨学生・11名出席)  
2002年11月17日(日) (厚生年金会館)

## 地域社会共同隊(RCC)について

国際ロータリー

### RCCプロジェクト

世界中のRCCは、地元社会、近隣地、村にとって有益なプロジェクトを実施し、ロータリー奉仕の精神を実践しておられます。今年の卓越したRCCプロジェクトの例をいくつかご紹介いたします。

- フィリピン、イロコス・ノルテ、ラオアグ・ロータリー・クラブ会員とマガラオイRCCの隊員計60名が、「豚の飼育」家畜農業プロジェクトに参加しています。彼らは、20頭の子豚を買い、育て、成長した豚を売って収益を得ることを目標としています。現在、このプロジェクトは、35頭の子豚を使った輪作収益で地域社会の貧しい人々に恩恵を与え、プロジェクトを維持する規模に発展しました。
- アパリンディー・コミュニティー・ケア・センターRCCと南アフリカ、ノース・ダーバン・ロータリー・クラブは、地元の高齢者と孤児を扱う施設の日常運営を手伝っています。RCC隊員は、センター職員と居住者を助力し、地域社会で販売するセメントの製造作業、農産物の栽培、食パン作りを手伝っています。センターの維持や設備改善は、住居者に適格な生活環境を与える上で必要とされますが、その資金は政府から支給されませんので、販売収益で賄っています。

### www.rotary.org

ロータリー・ウェブサイトwww.rotary.orgのRCCセクションを是非ご覧ください。このセクションは更新され、オンラインでRCC関連の情報をより入手し易いよう再構成されました。RCC活動に焦点を当てた特定セクションは、貴RCCプログラムの成功例をロータリー世界と分かち合う素晴らしい方法です。RCCプログラムで活躍されている方々に、活動の様子を提出するようご奨励ください。

RCC活動を求めたり、推進するもうひとつの方法は、RIのウェブサイトに掲載され、他のロータリー、ローターアクト、およびインターアクトのプロジェクトと並んで多種の奉仕活動や募金活動を挙げた社会奉仕プロジェクト・データベースを活用することです。データベースには、特に創意的で成功を遂げた活動で、他のクラブや地区が模倣できる活動が入力されています。

ご質問やご意見がありましたら、ご遠慮なくガバナー事務所にご連絡下さい。皆さまが2002-03ロータリー年度の目標の達成に引き続き尽力され、周りや世界中の人々の心や意識に慈愛の種を播かれるに当たり、ご成功をお祈りいたします。

# ガバナー日記

## 中学生夢会議ってなんだろう？

中学生夢会議って聞いたことがない。とにかく出席してみることにした。3月1日(土)午後2時から2時間札幌市西区の生涯学習センターちえりあホールで行なわれた札幌手稲クラブ新世代委員会主催の「中学生夢会議」である。何をやるのか一抹の不安な気持ちでいたが、中川喬雄会長の挨拶に引き続く丹羽祐而コーディネーターの名司会で7人の中学生が将来への夢の語るのである。これに5人(内3人が札幌手稲クラブ会員)の適切なアドバイスできわめて楽しく聞かせていただいた。



▲おおいに夢を語った中学生とアドバイザー  
コーディネーターの丹羽祐而会員▶

地球温暖化阻止の環境問題に関わりたいという夢やバレーボールに優勝したい、学校の先生になりたい、ピアノ弾きになりたい、イルカの調教師になりたい、家族と見詰め合う家庭を作りたいなど小さい夢や思いがけない多彩な夢を聞かせていただいた。

アドバイザーの吉野泰司会員(札幌手稲RC)は若い頃パイロットになりたかったと、また肘井博行会員(同RC)は学校の先生になりたかったが本音のところ女の子に好かれるためにどうしたらいいか苦労した話、そして戦争のない時代を作るのが今の夢であるとの紹介も心に響いた。また瀧川哲夫会員(同RC)は他人を批判する前にみんなで力を合わせて夢を果す努力が大切という率直なコメントがあった。コーディネーターの丹羽祐而会員は豊平川にチョウザメが上がってくる日を夢みたい、それが30年後であったとしてもよいという。アドバイザーの一人の磯野爽氏(元札幌市PTA会会長)は丹羽さんのチョウザメを早く食べてみたいと身近かな夢を語ってくれた。財団奨学生の平岡美緒さん(北星学園4年)は将来環境保護に関わりたい、そして国連で務めたいとのこと。

冒頭の中川会長の挨拶では「農業」は本当は「農毒薬」といふべきもので、虫をコロリと殺すと同時に人をもじわりと殺すとの話。また農業をとりこんだドジョウを食べるトキがいま絶滅に瀕しているなど、こわい農業の被害の話と新しい食生活に関わるご自分の仕事の夢を語ってくれた。

ロータリアンも一人ひとり大きな夢がある。夢は空想に近い夢から実現可能なもの、しかも年齢や時代変遷と

ともに変わる。果してロータリアンとしての夢は何なんだろうか？

## チーム研修セミナーは新しい試み！

チーム研修セミナーは次年度のガバナー補佐と地区委員長とが次年度の基本方針を確認すべくお互いの意見を開陳し討論する場である。3月2日(日)10時半から4時半まで千歳全日空ホテルに2003—04年度のガバナー補佐エレクト、地区委員長エレクト全員が集った。この地区研修セミナーは昨年春から始まった二度目のもの。

残念ながら地区委員長の報告はおよそ30委員会から次々と続いたが、ガバナー補佐の報告は一つもなく、ガバナーエレクトからの紹介のみであった。いわば委員長報告が主体で、ガバナー補佐と地区委員長との具体的な討論のなかったことが些か残念に思った。

印象に残った話として、午前に西條正博パストガバナーから「分区代理」と「ガバナー補佐」の違いについて、また佐藤秀雄ガバナーエレクトからはアナハイムの出席の折にRI財団が株式投資による700万ドルの赤字があるのにこの赤字は存在しないunrealizedのもの、つまり書面上のロスに過ぎないと説明して、みんなの疑念を増幅したとの紹介もあった。

なお、佐藤ガバナーエレクトの報告によるとRI会長エレクトのジョナサン・マジアベさんの強い意向として、亡くなられたロータリアンの家族をサポートするための**家族委員会**を作りたいとの依頼があったとのこと。これについては2002—03年度新設の**家庭奉仕委員会**和田三三委員長の元で取り計らっていただくことで了解した。ちなみに次年度のRIテーマは「Lend a Hand」(手を貸そう)とのこと。

## 世界初の女性編集長を迎え第1回ワークショップ！

「ワークショップ」とは何か以前にも書いたが、一つの問題をみんなが同じ目線で討論を深め、一つの結論を導き出すよう努力し、それをさらにできれば実行に移すという狙いである。講演会でもシンポジウムでもなければ、またパネルディスカッションでもない。やはりそこに一つ新しいものを作り出していこうという含みがあってこそワークショップの精神が生かされると思う。担当された地区ロータリーの友委員長佐藤公会員(札幌北RC)のご尽力で適切な演者選定と活発な全体的な討論が実現できたと思う。心から御礼申し上げたい。

第1回ワークショップは3月12日(水)1時から北海道厚生年金で「情報とコミュニケーション」のテーマで「ロータリーの友」編集長の二神典子さんの基調講演の後4人の演者を中心に討論を行った。ちなみに二神さんは世界各国のRI公認地域雑誌の編集長のなかで初の女性編集長である。「ロータリーの友」は昨年7月の創刊50周年迎えると同

時にサイズを大きくし、製本を中綴じに、カラーをトップにするなどいろいろ新しい企画で読み応えのあるものになったが、これも二神編集長の熱意の賜である。

小憩の後、広報について地区広報委員長の城木浩一会員(札幌北RC)、クラブの雑誌委員会のあり方についてロータリーの友委員の山名善久会員(札幌南RC)、ついで電子メールについて地区IC委員長の山田信夫会員(苫小牧北RC)、最後に月信について地区月信編集委員長の竹原巖会員(札幌北RC)の話題提供とともに質疑がなされた。

ただ、何事にも常に反省がなければならないし、反省あつての発展である。話題が「情報とコミュニケーション」というかなり広い範囲のものになったために些か焦点がぼけ、討論の突っ込みが不足したきらいがあつたかもしれない。

そのなかでも、各クラブの雑誌委員会の名称はむしろ「ロータリーの友委員会」であつた方がよろしいし、またさらに範囲を広げれば「コミュニケーション委員会」とした方がよいのではないかという意見が印象に残つた。



基調講演司会の 齊藤元護会員(札幌南RC) 二神典子 ロータリーの友編集長 ワークショップ司会の 佐藤公会員(札幌北RC)



月信を片手に 竹原巖月信編集委員長(札幌北RC) 質疑の 松見修二ガバナー補佐(函館北RC) 質疑の 菅田馨会長(札幌セントラルRC)

## 本当に楽しかった・腹抱えて笑った

3月13日(木)夜、後楽園ホテルで開かれた札幌西、札幌手稲、札幌西北、札幌あけぼのの4クラブの合同例会と懇親会のご招待をいただいた。最初に挨拶の札幌西RCの高下泰三会長が言われるのには、昨年9月10日のガバナー公式訪問の時の合同例会が非常に良い印象として残つたので、夜の部の懇親を主体とした合同例会をやりたいとのことで企画されたとのこと。今回は札幌西北RC(三上直彦会長)の担当である。

懇親会に入ってから各クラブからのアトラクションで時間の経つのを忘れた。最初のだし物は札幌あけぼののクラブの関係の子供さん方による「よさこい」の実演だった。まだ幼い子供もいて大変かわいく、よさこいの最高責任者である岸田晴樹さん(札幌西RC)からはきわめて「将来性あり」とのお褒めの言葉があつた。

アトラクション2は札幌西クラブの大和良二会員による



▼金色夜叉は爆笑が絶えなかった(札幌西北RC)



▲よさこいを踊る札幌あけぼのRC関係の子供さん

ハーモニカの演奏。アンコールを含めて3曲、素晴らしい演奏で大きな拍手がおくられた。ちなみに大和会員は現在85歳とのこと。その抜群の肺活量には感嘆した。

アトラクション3は駒ヶ嶺大三会員の指揮による札幌西クラブのメンバーのコーラスである。ダークダックスも顔負けの演奏で、「乾杯の歌」など会場全員の合唱もあつて大いに盛りあがつた。さすがは札幌西クラブは音楽クラブである。

アトラクション4の札幌手稲RC宇野義昭会員による「まぶたの母」などの歌と演技には驚いた。こんなプロの芸人がロータリアンにいたとは!! おひねりも最高だったので「ニコニコ」もさぞ大変であつたであろう。

最後のアトラクション5は札幌西北RCの次期役員を主体にした「金色夜叉」である。いかにも素人らしくセリフの間が合わなかったり、どこまでが本物なのかミスなのか区別がつかない抜群の演技に会場は大いに笑いこけた。私自身久し振りに腹を抱えて笑つた。

終わって最後に札幌手稲RCの中川喬雄会長は「今日は本当に楽しかった。これで4つのロータリークラブが1つになった」と挨拶された。出来ればこの素晴らしいアトラクションは4クラブのご家族の方々にも是非見せてあげたかった。本当に素晴らしかった。

## 本音の討論でロータリーは変わってきた!

3月15日(土)、16日(日)会長エレクト研修セミナー(プレジデント・エレクト・トレーニング・セミナー=PETS)が千歳全日空ホテルで開催された。併せてロータリー財団セミナー、米山セミナーも開かれた。地区内12名のガバナー補佐と72名の会長エレクトが始めて一堂に会する機会でもあつた。

財団セミナーでは会員が寄附したお金在实际RI本部でどのように配分され使われているかの全容がなかなか見えてこないという質問があつたし、また3年後にその60%(96—97年度から50%)が還元されるお金の使い方についてみんなの関心と熱意がまだ不十分ではないかという意見もあつた。どうせ申請しても間に合わないだろう、ダメだろうと最初から諦めのムードではなく、やはり申請してみるという意欲が必須なのではないのか。弾を撃たなければ当たらないのである。このような基本的な意識改革がなければ、ロータリー会員が金だけ出して見返りが無いという不満につながってしまう。

財団の寄附目標額は2002—2003年度に従来の32万ドル





グループ別討論会 (Eグループ) の会長エレクト、中央に渡部英次ガバナー補佐エレクト (留萌RC) と  
木村照男代表幹事エレクト (千歳RC)、右手に時間を気にする佐藤秀雄ガバナーエレクト (坂井浩会員-千歳セントラルRC-撮影)

から25万ドルに減らしたのだが、このことをまだご存じでない方も多かったようだ。それとRI会長、エレクト、ノミニ一人に2600万円ほど毎年謝金として払われているという事実はその後どのように進展したのかという質問に対しても具体的な回答はなし得ないが、いずれ規定審議会への検討がなされるはずである。

地区の委員会の数が多すぎる。予算がかかって大変ではないかとの率直な意見もあった。ただ誤解がないようにいうが、委員会を増やしたとはいえRIからの指示をそのまま受け入れているわけではなく取捨選択していること、しかも委員会の増加には責任分担が明確化した利点があること、予算面に関しては関連の委員会が合同で開催するように指導していること、また大きな委員会の予算は既に相当カットしているのでトータルでの予算増にはなっていないことをこの場で指摘しておきたい。

地区委員会が増えると各クラブで対応しきれないという意見には一理ある。今年度から地区に出来た**家庭奉仕委員会**は各クラブでは社会奉仕委員会で担当していただければいいことであろう。さらに次年度は**家族委員会**を作るようにとのことだが、これも家庭奉仕の中に入れて考えるべきであろう。さらに次年度この地区で「**子ども奉仕委員会**」が新設される。これもクラブの事情が許せば個々の委員会を作るに越したことはないが、各クラブでは社会奉仕の中で進めていただければいいのではないだろうか。

最後に私は会長エレクトのみなさんに「そのクラブを良くするのもしないのも会長さんの熱意如何である。ただ1年間無事に務めればいいということではなく、1つのビジョンを持って会員のみなさんに本音でお諮りし、前向きに進めていただくようにご努力いただきたい」とお願いした。

また、「**地区月信**」は「ロータリーの友」と違ってロータリーの身近な情報がいっぱい入っており、どうかお目通しいただくことで会長としての準備をお進めいただきたいと強調した。さらに佐藤ガバナーエレクトも「1人の人間であり、あるいは失敗もあるかもしれないが、みな様の暖かいご声援によってこの2510地区が全国的にも『なかなかよく頑張っている、素晴らしい地区だ』というふうな評価をあげていただくようお願いしたい。これも各会長エレクトのみなさんの双肩にかかっている」と激励した。

## 家庭を大事にしますか？

この地区に全国初の**家庭奉仕委員会**ができた。具体的に何をどうすればよいかという疑問が絶えない。**札幌北RC**では玉木弘孝社会奉仕委員長が「私の家庭奉仕」ということで夜間フォーラムを行うので基調講演をしてほしいとのこと、3月17日夜6時半からホームクラブのセンチュリーロイヤルホテルに赴いた。玉木委員長は「ある研究者は奥さんを顧みず子どもを顧みずひたすら研究に専念したために、今になって反省し家庭奉仕を思いついたのではないかと暗に私を揶揄する紹介があった。事実、玉木委員長の言うとおりで、私自身は子どもたちの父兄会、学芸会に一切出る暇もなく一心に研究に専念していたと思う。いまはがんを持った患者さんと応答する機会も多くなり、人生の最終局面に立ち入った人達を多く見るにつけ家庭がいかに大事かを思い知らされるつつある。

家庭奉仕の基本は相手の話を良く聞くこと、お互い良く話し合うこと。2番目、相手の人間としての人権、人格を十分に尊重すること。3番目、もし出来れば相手の些細な美点でも見つけ、これを何気なく誉めることの3点を紹介し、私自身が皆さまに家庭奉仕を語れる資格はないが、私自身が家内の脊柱側湾症による痛みの場所に毎朝湿布を貼るとかピップエレキバンをつける、また食事の後の皿洗いをすることなどを紹介した。

4つのテーブルに分れクラブ会員が

「私はこんな家庭奉仕をしている」という紹介があった。いまその逐一を紹介することは出来ないが、あまりにも羨ましい家庭奉仕に「何か後ろめたいことがあるのではないかと冷やかされる人もいた。また、ご夫人を亡くされた一会員は、人目も羨む仲睦まじい仲であったが、奥さんを亡くされて始めて家庭のありがたみを知らされたという話もみんなの心に強く残るものであった。「私はこんな家庭奉仕をしている」という話を本音で語り合える雰囲気はロータリアンとして潔く素晴らしいと思う。



「私の家庭奉仕」を自由に語り合う札幌北RC会員

小林俊之会員撮影

Q：クラブも地区も次年度に向けての準備を始めておりますが、地区委員並びに委員長の選考や基準はあるのでしょうか？ また、地区委員会の役割について教えてください。

A：地区委員及び委員長はガバナーのブレインとして、ガバナーから特定の個人に指名するものでクラブの意向やクラブの判断で決めるべきものではありません。地区の管理や特定の奉仕活動の実践分野を担当するわけですから、それぞれの分野の知識や経験が豊富な会員を選考されることとなります。

特に実際活動の伴う、国際奉仕・財団・新世代・青少年交換関係の委員会では経験と実績が問われることとなります。しかし、同じ委員が何年も同じ職にとどまるのも考えものです。任期は3年を範囲以内に、毎年新しい委員を入れて新陳代謝を図り、地区内のスペシャリストの絶対数を増やすことが必要

です。

DLP制度が義務採用されるようになり、ガバナー補佐の就任要件の一つに地区委員並びに会長経験者があります。従って、有能な会長経験者をなるべく早く地区委員に指名し、逆に地区委員として活躍した人をなるべく早くクラブ会長に就任させる努力も、クラブ側で考慮する必要があります。

「ガバナーは地区で唯一のRIの役員である」とRI細則で定められていますが、ガバナー自身が地区管理や奉仕活動の実践分野のすべてに通じているわけではありません。それぞれの分野のスペシャリストとして、またガバナーのブレインとして、ガバナーから出される具体的な諮問事項を検討し、適切な答申をしなければなりません。このことも大切な地区委員の役割であります。

また、奉仕活動の実践母体は各クラブやロータリアン個人であって、地区ではありません。しかしながらクラブやロータリアンが十分な情報を持っているとは限りませんから、地区委員会が具体的な情報を収集して、それをクラブやロータリアンに提供することも大事な役割と言えます。

## ガバナーとの対話 —アンケート(会員の自由意見)と回答(2)

アンケートの個別項目についての結果は、月信2月号に報告した通りだが、会員から寄せられた自由意見を項目別に整理した。その中から回答の必要と思われるものについて若干のコメントを加え「ガバナーとの対話」として3月号にその1部を報告したが、残りをすべてを4月号で紹介する。

示唆に富むご提案などが多くあって頼もしい限りである。あらためてロータリアンのみなさんの率直なご意見に心から感謝申し上げたい。

### 財政について会員からのご意見

1. 寄付が判らない。何種類あり何のためかが今ひとつはつきり判らない。
2. 21世紀に入り、国際的な状況も大きく変化し、経済環境が益々貧富の差を広げ拡大する傾向にある。痛々しい現況であるが、RIの100周年を迎えるに当りRI負担金、地区負担金を含め会費の減額を含めた総合的な事業、運営を見直す時期にきていると思う。
3. 分担金、寄付、特別寄付、登録料、協力金などお金のかかることばかりが多い。こういう時代だからこそ見栄を張らずに分に応じた行動をすべきではないか。もう一度

原点にもどって謙虚になる必要があると思う。

4. 社会経済が落ち込んでいる現状の中で年会費、また諸会合の参加料など考えていくべきではないのか。
5. 会の財政が苦しいのであれば、ゲストへの車代は3～5,000円程度で十分、誕生日プレゼントなどは今は必要ないのでは？
6. 地区大会に非常に疑問を持っている。①費用、②準備或いは参加に費やす時間、③大会の内容等からみて殆ど無駄ではないかと思っている。ロータリー本部の規則だからというのではなく、日本の風土に合った行動を考えたらと思う。
7. 会員増強と退会防止が今、ロータリークラブの最大のテーマになっているのではないのでしょうか。ロータリーは寄付団体ではなく、奉仕団体であるべきではないのでしょうか。一方、ロータリー財団への寄付や分担金、



米山奨学会への寄付など、日本のロータリーは非常に多額の資金を使っているようですが、国際ロータリーなのだから、特に寄付などは平等にし、無理な寄付集めははかなものかと思えます。

8. 組織として節約に努めることが必要。
9. 会員の少ない小さな町の貧乏クラブと大きな金持ちクラブとが一緒の寄付金ではなく、コンピューター時代なので色々な意見をくみ出す方法はないのですか？
10. 地区は（71クラブ）会員で成り立っていると考え。71クラブあっての地区である。地区委員会を少なくする。会員の負担金を減らす。地区行事を最低限必要なものみにする。これを実行しないと近い将来ロータリーは滅亡の危険ありと思う。
11. ここ数年会員が大幅に減少しているにもかかわらず、地区ではこれまで通りの活動をしようとするのは如何なものか。収入に見合った活動をしなければ無理がかかり、ついて行けなくなった会員が離脱する心配がある。重点的にしぼって活動すべきと思う。そのような中で委員会を増やせば会場費などがかかる。逆に委員会を減らして能率的に機能させるべきと思う。
12. 登録料、人頭分担金などが高い。

#### 回答：

「ロータリーには金がかかる」「無駄な金は省くべきではないか」「組織をもっとスリム化して経費の節減を図れ」といったような意見が大部分を占めている。各クラブの年会費一覧表（月信1月号p27）にあるように、それぞれのクラブのご苦勞が伺える。札幌市内は平均して高い。それは会場、食事が他クラブに比べて高いということだろう。いずれにしても、ロータリーに金がかかりすぎ、それが有効に使われていないのではないかと、という疑問は少なくない。



このような意見は謙虚に受け止め、各クラブの予算づけで十分考慮いただくだけでなく、地区予算の編成にあたって注

意しなければならないところである。

ゲストスピーカーへの車代は3,000円～5,000円位で十分ではないかとか、誕生日プレゼントなど今は必要でないのではないかと（No.5）とのご意見も具体的で結構なことではないかと思う。いずれにしても、各クラブの自主的判断でお決めいただきたい。

一方、地区の予算づけで委員会が増えればそれだけ予算が増えるということであるが、これは先月号の月信にも書いたが、必ずしもそうではない。個々の委員会には経費の節減をお願いしており、委員会の数が増えることで経費が増えることではない。委員会が増えたのは、単にRIの指示

に拠るからということではなく、活動内容の責任分担が明瞭化するというメリットを重視している。

今回のアンケートには余り触れられていなかったが、1)の寄付が判らない。何種類あり何のためかが今ひとつははっきり判らない。という意見は、大変貴重なご意見と思う。ロータリー財団の寄付配分の内容がしばしば変更し、その内容について行けないという側面がある。また、財団への寄付は3年間据え置いてからその50%がわれわれの手に戻ってくるが、これの内容、仕組みについては不明な点が少なくない。とくに財政悪化に伴い、3年間に投資された財産のお金の損失もどのぐらいになるのかは、われわれには見えてこないし、具体的な内容はほとんどわからない。ともかく3年後に戻ってくるお金をいかに有効に使うかということももっとみんなの関心があっていいように思う。とかくお金を納めただけで使おうとしない傾向が寄付に関する不満に関連しているのではないだろうか。



#### 奉仕について会員からのご意見

1. 最近のロータリーの奉仕活動は物的奉仕に多少偏る傾向がある。それがロータリーのすべての如き考えは危険である。青少年の育成を含めて心の活動をいま少し努力すべきだと考える。今ロータリーに求められているのは心の活動ではなかるうか。勿論物質的のものを排除するというのではない。
2. 派手な奉仕活動（国際）がだんだん多くなり、かなり苦痛を感じる。無意味だとは申しませんが、中にはRCへの押し付けが感じられるものもあります。新入会員やその候補者は大きな戸惑いを感じるのではないかと危惧を感じます。
3. 地元に着してない。
4. 国際奉仕に比重がかかりすぎている。
5. もっと地域に奉仕する姿勢が必要。
6. ロータリークラブは奉仕団体なのか、そうではないのか。
7. ロータリーの原点を忘れないこと。身近な奉仕活動を探し、実行したい。
8. 地域性もあると思いますが、会員各位の意識を高め、新会員の増強を頑張るべきだと思います。当クラブも何とか50名を超えるよう努力したいです。
9. 月1回例会として、市内のゴミ拾いをしたらその後の食事はもっと美味しいのでは？
10. あまり高度の考えを持たず、世界に奉仕活動をするべきだ。

回答：

ロータリーは奉仕団体でもあるが、物質の奉仕に目が行って心の奉仕がうとんぜられているのではないかとのご意見は貴重である。また、国際奉仕が華やかに展開される一方で、足下を見た地元での奉仕も必要なのではないかというご意見も貴重である。奉仕はクラブ奉仕から、職業、社会、国際の4大奉仕があり、さらにその原点とも言うべき家庭奉仕がある。背伸びせずに身の丈にあった身近なところの奉仕を忘れてはならないものである。

## ガバナー、パストガバナー、ガバナー補佐、会長について会員からのご意見

1. ガバナー制度の見直しが必要。パストガバナーの定年制度が必要。パストガバナーは2年経過するとその地位を失うこととする。今のガバナー制度は明治位（100年）の古さである。この古さがロータリーの衰退となっている。ロータリーに入会して20年になり、ガバナーの悪さ加減が良く分かってきた。機会があれば退会したい。
2. パストガバナーとして年次大会、その他役職は5年程度で停止してあげることが望ましい。
3. 会長は、①社会経験の長い人、多い人でありたい。②会員の立場に立ち責任感の強い人、実行力の人でありたい。③知識力、学歴だけではだめだ。
4. ロータリーを学ぶ機会が以前より減少しているし、リーダー的なガバナー補佐や会長クラスの方がロータリーについて不勉強である。この事によって一般会員においてはロータリーが理解できなくなっている。改善する必要あり。又地区役員（委員長）に同じ人が就いていることに疑問あり。もっと広く人材を登用し、交代すべきである。実践に走り過ぎ、理論構成がなされてない現況である。
5. 先般ガバナー補佐の公式訪問があったが、全く意味無いクラブ協議会で非常にながかりした。もう少しロータリー情報（ロータリー定款細則の変更について）などを提供して欲しい。
6. ガバナー補佐のメーキャップ料を事務局が負担しているが、まごころに合わせ、表に出ない方が良いのでは？メーキャップは本来個人かと思うので。
7. ガバナー経験者（一部）が強引に2510地区を引っ張っている印象があり、極めて遺憾だ。
8. ある人の選挙後援会長になっていた事で家族から“一体ロータリークラブは何をやっているの？”と批判を受け、実に恥ずかしかった。ロータリーの職業倫理とは何か、見せかけだけの薄っぺらなものではないかとの反省がある。せめてその任を辞退して欲しかった。クラブ外の友人からも指摘を受けた。（個人名省略、一部修正）

回答：

ガバナー・パストガバナーなどに対する厳しいご意見をほとんど修正することなく、そのまま提示させていただいた。いずれも「なるほど」と頷ける内容も少なくない。た

だ、個々の意見に沿って、ロータリーが変わりつつある、或いは変えつつあるとも思うので、時間をかけながらも変えていくべきものであろう。ロータリーは90数年の長い歴史があれば、組織の沈滞化を否定し得ないのも事実である。

ただ問題なのは、外圧を利用して修正できるものではなく、内部から盛り上がる意見によって変えて行かなければならない。これが筋道と思う。いずれも謙虚に受け止めたい。



## アンケートそのものについて会員からのご意見

1. ロータリアンの現状を知る上の方法としては良い、これからも期待。
2. 会員の本音を知るにはアンケートは有効だと思う。
3. このような立派な会員調査をしていただき有難うございます。結果を楽しみにしております。
4. これからもアンケート方式の意見の交換もやっていただきたい。
5. 調査を生かす方向で会員へ衆知されるならば、継続を了解できます。
6. 本調査の結果を踏まえ、活気ある新しい21世紀のロータリー活動を期待する。時代とともに変化するロータリーでも良いかも知れない。
7. 無記名のアンケートは非常によい考え方であり、全体の動向が把握でき、将来の対策上欠かせないものと思うので、今後とも継続して実施されたい。回答項目には内容が不十分で正確性が欠けるものもあり、もう少し考えた方が良い項目もあります。
8. アンケートを実施するのはいいが、これをどのように生かすかである。
9. 問い方を工夫する必要があるのではないだろうか。
10. このような調査を行うときには、何故行うのかという意図をより鮮明に述べるのがこの程度の調査を行う際の最低必要条件である。当然このことは地区では判っていると思うので、この調査結果を公表する際に明確にさせていただきたい。
11. 全て良しはあり得ないにしろ、このようなアンケート時にでもロータリー意識、目的の啓蒙はするべきで、末端の会員、又は新会員へのガイダンス、オリエンテーションを強化すべきでは？
12. アンケートを取り、地区奉仕（委）としてどんな方向へもっていこうとするのか、結果を取り纏めるだけではなく、その方向づけ迄きちんと指針を出して欲しい。

13. 調査だけではなく、クラブにもそれぞれ事情があると思いますので、地区としてクラブの活動状況を把握して指導していただきたい。ロータリー活動の状態は会員数によって異なりますので。私共のような小さなクラブは地域内の奉仕活動から始めなければならないと思います。
14. 問27～30は大変くだらない質問である。
15. このアンケートは今後のRC運営を考えるためというが、設問内容から見てどのように反映しようとするのか目的がはっきり見えない。特に問27以降の設問にはあまりにも個人の意志に入りすぎている。
16. Q&AのAの文章に適当なものがないものもある。
17. 問23に関連するが、退会者が増えることが一番問題だ。地域経済状況が良くなる可能性が薄い。会員増強は難しい。厳しい年度程、ロータリーの存在が認められるように努力すべきだろう。
18. アンケートの目的がはっきりしない。
19. 設問が合っていない部分がある
20. 設問と回答はもっと工夫すべき。
21. 質問の内容が必ずしも適切ではなく、回答に非常に苦労した。
22. 回答項目に「その他の意見・考え」がない。
23. 質問事項を身近なものにお願いしたい。
24. 設問、解答項目ともに一考の余地あり。
25. 設問が偏っているように思う。
26. もう少し質問を整理し、重複をなくして行うべき。
27. 選択肢が個人的なロータリー観に偏っている設問が多すぎるように思う。
28. あまり良い質問と思わない。
29. 質問内容が、YES/NOに近いので、もっとフランクな内容方式を考えては？
30. もう少しきめ細やかな設問設定があってしかるべき。
31. ロータリー歴及び年齢等を同時に調査すると更に解析に効果があるのでは？
32. ロータリー歴によってロータリーに関する考え方、関わり方が変わって来ると思います。アンケートの中にロータリー歴の項があった方が分析に役立つのではないのでしょうか。
33. 質問が自分の地域に密着していない部分も多く答えにくいので、考えて欲しい。
34. 設問に無理がある。
35. 問19・20に関して、答えを求めているが、答えを出せないと思う。
36. 問22・27・28・29について解答に若干の意識の違いを感じる。
37. 問25・26・27は設問が不適切。問25：女性の入会については男性と同様に考えれば良いと思う。問26：社会とは地域社会か、一般社会か、どちらを示すかで、答が変わると思う。問27：例が極端過ぎる。
38. 問27のような極端な設問はどうかと思う。
39. 問27は回答しにくい。
40. もう少し具体的に！！
41. 情報の提供を密にして、ロータリーとしてのリーダーシップを充実し、安易に会員意見を求めるなどは組織としての役割を怠ること勿れ。
42. ロータリーも100年を迎えようとしているが、規定審議会で改悪に次ぐ改悪でロータリーの基本理念が消失しようとしているとき、このような薄っぺらいアンケートではなく各々のロータリアンが何日も考えて結論を出すアンケート内容を望む。
43. クラブ奉仕委員会に望む事、①アンケートを実施する事は良いことであるが、ロータリーの意義、内容についてもう少し勉強したいので、時折クラブ奉仕委員会より各クラブに勉強していただく為、その資料を送付していただきたいと思います。
44. 設問に対する解答がおかしい。委員会で良く検討したほうが良い。真面目に努力したら名をあげなければいけないのか。委員会の人々は名をあげたいのか。
45. 色々な面で見直しを求められ、アンケートということですが、目的がよく理解できない。もっと内容を絞り込んだ方が良いと思う。
46. アンケートをどう処理するかが大事なことであり、アンケート調査そのものが良い事ではない。
47. 時代の変化に対応する為に調査分析してください。
48. 地区HPを活用してください。1年に1回の調査より効果があると思う
49. ロータリーに入って誇りと思うかという問いにはびっくりした。誇りに思うことはロータリー人として一人よがりではないかと思う。幸いにしてロータリークラブに入らせていただいて感激、感謝したと振り返り、感じている。



#### 回答：

「アンケートそのものがくだらない、何をいまさらやるのだ」という意見が少なくなかった。確かにロータリーにいままでアンケートを行った経緯は見られない。ただ今回のアンケートの主要な部分は2700地区（広島）でやられていたものと同じことをやってみようということである。その結果は両地区ともほとんど同じ傾向が表われていて、むしろ地域性の無いのに驚かされたくらいである。違いがあるとすれば、女性会員の入会に対する寛容度が北海道に低く、広島県に高いことぐらいであろう。

アンケートそのものについて「改善の余地があるものの、

修正すべきものは修正し、今後ともこのようなアンケートはあってしかるべし、大いにやるべし」との声もあった。

大切なことは会員のご意向がどうであるか、またその意向がどう動きつつあるかということがわかる方法があれば何のことはない。月信を介してみなさんの率直な意見を聞くことも出来よう。この機会に改めて月信をもっと活用していただくようお願いをしたい。

## その他の意見

1. 今年度のガバナー公式訪問を4クラブ合同でやるということは横着な方法で、各クラブの実情を正確に把握できないのではないか。会長・幹事の緊張感が欠け、クラブ運営もマイナスで御座成りになるのではないか。ガバナーはもっと厳格にすべきではないか。
2. ロータリーの「会員の親睦」は大切なことだが、地区大会における懇親会はジャンボ過ぎて、その本旨から外れがちであるので、廃止を検討してもよいのではなかろうか。
3. 地区大会が一日で終わるプログラムを作って欲しい。
4. 禁煙反対
5. ロータリーの友誌をもっとPRすること。
6. 時流に添わない形式を大切に重んじているのがベストなのか。
7. 社会のため、少しでも役に立つように生活するように考えている。
8. 若い時は、いろいろな行事やその他に参加できたが、年をとるに従って参加等も体力に合わせている。
9. 私は90に近いので、人生にあまり積極性がなくなっている。
10. 「超我の奉仕」は入会時1回の発行でよいのでは？
11. 入会して日が浅いので、クラブ活動についてよく勉強していきたい。例会時の食事はもっと質素でも良いのではと思っています。
12. 自分の気持ちに忠実に生きたい。
13. ロータリー発足100年、もう一度原点を見る必要があるのではないか。
14. 地区大会のゲストにもっと適当な人を呼べないものか。
15. ロータリー活動を通して、(哲学的)ソフト面での学ぶ事項、内容の充実の向上を望む。
16. もう少し交流の場を設けると良いと思う。
17. ロータリーの活動をもう少し町民にアピールしてはいかがですか？
18. 家庭奉仕(DV)のような考え方は、ロータリアンにはふさわしくない。
19. ロータリーのステータスをより上げるようにする事で個々の意識の高揚が計られるし、社会に対しても必要と思う。
20. ガバナー月信は必要無い。購読の強要(役員経験者)は良くない。
21. 地区って何をやっているの？ 1人平均約2万円の負担、多すぎませんか？ ガバナー月信全員購読？ それなら

地区ニュースでしょう。ガバナー月信とは違うと思いますが、広告まで入れるなんて最近の地区はおかしい！せめて負担金を減らす努力をすべきではないでしょうか。

22. 地区「公報」の考え方に疑問を感じる。2回のメディアフォーラムに参加して。
23. ロータリーの基本的概念が次々と変質していつているように思う。原点にもう一度戻り、ロータリー創設時の概念を思い起こし、ロータリアン自身の為の戒めを厳しくすべきだと思う。
24. 豊かさの求め方は各人各様でしょうが、結果として得られる心の充足感は共通しているように思います。ロータリーでの実利はこの充足感がほとんどです。私たちは毎日の経済的活動(食うために働かなければならないという現実的活動)を無くしては成り立ちません。この活動とロータリーで得られる充足感のマッチングがロータリーの源と考えています。
25. ロータリアンの高齢化及び会員減により奉仕活動もままならないのが現状かと思われまます。新会員への努力も経済の不況によりままなりません。従来の一部の特権階級の「サロン」というイメージが新会員の入会に邪魔になっているかと思えますし、税法上も会費が経費と認められないのも今の若い会員の入会の邪魔になっているのではないのでしょうか？
26. 現在のRIは原点からずれてきている。
27. 実社会とのズレを感じる。



## 回答：

その他のご意見を全て掲載するようにした。項目が多岐にわたり逐一回答の欲しいものもある。「バナー月信は必要ない」「購読の強要もよくない。」というご意見もあるが、月信は以前のようなガバナーからの一方的な情報伝達ではなく、皆さん会員一人ひとりの自由な意見交換の場として活用していただきたいとの主旨で、ガバナー月信というよりも「地区月信」として提供してきたつもりである。

また、「月信の広告がけしからない、おかしい」という意見もあったが、これは「ガバナー要覧」にも書かれているとおりで、決してルールをはみ出していることではないし、また少しでも経費の節減に協力したいとの意図なのでお許しをいただきたい。

# アンケート調査の結果と分析 (第2回)

クラブ奉仕委員会

2002年9月にクラブ奉仕委員会が地区内3,484名の全会員を対象に実施した、アンケート調査の集計結果は既に、『月信』2月号で報告済みですが、地区全体及びグループ別の集計結果の特徴などについて、若干の分析を加え前月号に引きつづいて、設問8の「ロータリー財団への寄付」から設問14の「これからもロータリー活動を続けたいか？」までを今月号に、残りの項目についても順次掲載の予定です。

## 調査の概要

- |              |                      |            |               |
|--------------|----------------------|------------|---------------|
| 1. 調査時期      | .....2002年9月         | 5. 調査主体    | .....クラブ奉仕委員会 |
| 2. 調査対象者     | .....3,484名          | 6. 調査結果の集計 | .....ガバナー事務所  |
| 3. 調査方法      | .....悉皆調査・配票調査       | 7. 調査結果の分析 | .....クラブ奉仕委員会 |
| 4. 有効回収票・回収率 | .....1,758名 (50.46%) |            |               |

## (回答率)

質問	回答項目	グループ												
		地区	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
回答率	会員数	3,484	189	266	384	466	466	360	209	183	281	247	246	187
	回答者数	1,758	113	133	218	200	209	168	130	98	127	111	139	112
	回答率	50	60	50	57	43	45	47	62	54	45	45	57	60

◎アンケート調査時点の地区会員数3,484名に対し、回収回答者は1,758名の50%の回答率であり、アンケートの目的について徹底されなかったのか、第2710地区の会員数(3,982名)回答者(2,882名)回答率(72.4%)に比べるとかなり低いと言わざるを得ない。

◎グループ別の回答率は第7(62%)第1・12グループ(60%)と上位で、逆に第4(43%)第5・9・10グループ(45%)と低く、札幌・函館地区の都市型クラブの回答率が低く、地方クラブの回答率が高いという結果となって現れている。

## 8. ロータリー財団への寄付

(上段：人数、下段：%)

クラブ活動について	8. ロータリー財団への寄付	積極的	グループ												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		積極的	522	32	40	77	63	64	29	59	21	38	34	30	35
			30	28	30	35	32	31	17	45	21	30	31	22	31
		お付き合い	934	61	80	103	88	116	93	67	62	49	70	77	68
			53	54	60	47	44	56	55	52	63	39	63	55	61
		経験なし	280	5	10	33	44	28	43	2	19	41	16	30	9
			16	4	8	15	22	13	26	2	19	32	14	22	8

◎積極的と答えた会員の意識について

特筆すべきは第7グループの45%は、財団寄付について会員の意識が高いことが伺える。その他のグループは殆ど30%前後の割合と言える。

◎付き合いとの回答が圧倒的で、会員の意識の中に「お付き合い程度」が定着している感がある。50%前後の割合と言える。

◎経験なしとの回答は比較的少なく、2%~30%と幅が広がっている。それにしても第7グループの2%は特筆すべきである。

◎以上の調査で感じることは、最近ロータリー財団寄付の要請は年々増加の途を辿る傾向か？ それに対して、クラブの役員は要請に応えるべく積極的に目標額の達成を目指す。しかし、各会員の意識にはロータリー財団への寄付だけがロータリー運動ではないとする考え方も見逃せない。

◎ロータリー財団による、事業が地区内会員に理解されてきている。ロータリー財団奨学金や世界社会奉仕活動などの理解度も高いのかも知れない。又同額補助金についても理解されつつある。

◎このアンケートの集計にあたり、地区内3,484名中1,758名の回答者数は、回答率にすると約50%に過ぎなかった。各クラブごとの意識の違いがでているようにも考えられる。

我が地区のアンケート集計率は、50%前後である。無関心な場合があるようだ。

## 9. 米山奨学会への寄付

(上段：人数、下段：%)

クラブ活動について	9. 米山奨学会への寄付	積極的	グループ												
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
		積極的	405	26	26	61	46	56	21	57	15	28	20	26	23
			23	23	20	28	23	27	13	44	15	22	18	19	21
		お付き合い	820	58	69	91	82	102	76	59	40	47	65	67	64
			47	51	52	42	41	49	45	45	41	37	59	48	57
		経験なし	484	14	34	60	65	50	66	13	42	52	20	44	24
			28	12	26	28	33	24	39	10	43	41	18	32	21

◎第2710地区アンケート調査報告によると、全体的にはお付き合いの寄付が50%で多く、積極的の寄付は20.5%、経験無しが29.6%であった。又興味深いことに2000年以降の調査では、寄付の経験無しとの回答が64.7%と多く、お付き合いの寄付が30.8%、積極的が4.5%であった。

◎我が2510地区の今回の調査によると、地区全体ではお付き合いが47%と多く、経験無しが28%、積極的が23%であった。

◎我が地区の場合、R財団に比べると米山への寄付について経験無しの会員が多かった。地区協議会でR財団セミナーが開催され、併せて米山の依頼も行われてきた。次期クラブ指導者に目標が示され、協力の要請が効果的であるように思われる。又米山記念奨学生の生活体験発表は、米山奨学会の理解を深めるには実に効果的である。

◎地区としてもこれらのことを考慮して各クラブに対して、R財団はじめ米山奨学会についての情報を伝えるべきである。

## 10. どのようにして入会したか？

(上段：人数、下段：%)

	地区	グループ													
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
ロータリーに対する考え	10. どのようにして入会したか	自ら希望	92	1	8	11	18	11	10	8	4	8	4	3	6
			5	1	6	5	9	5	6	6	4	6	4	2	5
		人から推薦	1,475	87	113	186	163	182	140	109	82	103	94	121	95
			84	77	85	85	82	87	83	84	84	81	85	87	85
		役職上	151	10	9	17	13	15	17	11	10	15	15	8	11
			9	9	7	8	7	7	10	8	10	12	14	6	10

◎地区全体として、人から推薦が84%で一番多く、役職上が9%で、自ら希望が5%で最も少なかった。

◎この設問は、ロータリーなど知らないと言う一般的な認識が強く現れたように思われる。ロータリーが一般社会との間にズレがあって、対外的な取り組みが不十分であった。最近（遠藤年度以降）は、メディアフォーラムなどが開催されマスコミのロータリーに対する意識が変化しつつある。良く理解されてきたように思う。最近のクラブのロータリー活動もクラブ内に留まらず、地域社会に向けた活動が行われるようになった。多くの社会人がロータリーの素晴らしさを認識し、憧れを持たれるような活動とロータリアンの人格形成の両面が課題のように感じる。

◎私たちはロータリークラブの会員の推薦を受けて、各クラブに入会致しました。ロータリーに関するインフォメーションも受けて入会したのですが、充分理解していないように思われる。そこでロータリー情報の再点検も必要である。兎に角入会して出席している内にロータリーは分かると言うのも無理な話でないか？ 新入会員は情報不足に混乱しているように感じる。

◎退会防止の一助として、メンバー同士の一声運動も効果的である。「○○さん元気ですか？」の一言が大切です。

## 11. 入会を決意するとき、重視した点？

(上段：人数、下段：%)

	ステータス	276	16	22	31	38	36	22	14	14	22	19	21	21
		16	14	17	14	19	17	13	11	14	17	17	15	19
ロータリーに対する考え	ビジネスの拡がり	316	17	18	43	32	51	31	20	19	28	20	23	14
		18	15	14	20	16	24	18	15	19	22	18	17	13
	異業種交流	908	47	70	100	109	116	84	62	58	77	72	56	57
		52	42	53	46	55	56	50	48	59	61	65	40	51
	奉仕活動	597	31	41	54	69	78	50	40	48	45	35	72	34
		34	27	31	25	35	37	30	31	49	35	32	52	30
	交友関係	1,083	62	85	144	98	129	105	81	62	81	71	92	73
		62	55	64	66	49	62	63	62	63	64	64	66	65
	その他	35	4	2	3	7	2	2	2	2	2	1	5	3
		2	4	2	1	4	1	1	2	2	2	1	4	3
特になし	148	9	12	15	20	22	16	13	7	8	7	11	8	
	8	8	9	7	10	11	10	10	7	6	6	8	7	

◎第2710地区アンケート調査報告からの情報：入会の動機に関する報告によると、交友関係が一番多く63.3%で、異業種交流56.4%、奉仕活動27.4%ステータス17.7%、ビジネスの拡がり17%となっている。我が2510地区の場合は全体として、交友関係が62%で一番多く、異業種交流が52%、奉仕活動が34%、ビジネスの拡がり18%、ステータスが16%となっている。

◎以前ロータリー入会にあたりロータリー情報をインフォメーションされた先輩は、ロータリー活動の素晴らしさを力説され、そのステータスの大きさを自ら述べられた事を懐かしく思い出す。

◎ロータリーに入会して多くの友人を得たが、ロータリーの奉仕を通じて得られた経験に満足している。また異業種の会員との出会いも、社会人として広い視野を得られたように感じる。

◎これらの報告を目の当たりにしながら、今後のロータリー活動の充実と会員増強、退会防止に思いを巡らす。折角入会しながら退会していった会員を思うとき、価値観の違いが入会の動機についても大きな因果関係があるのか？ もしこれから新



入会を推薦するとき、どのようにロータリーを紹介すべきか？ 会員一人一人がもう一度初心に帰ってロータリーを見直す機会かも知れない。

◎経済不況が叫ばれる今日、仕事に優先してロータリー活動が出来るか？ このような時代にこそ、もう一工夫欲しい！ 難しい時代である。

利潤追求の経済活動は將に死にものぐるい！ そんな傍らにロータリーの奉仕活動が心の充足を与えてくれる。だからこのような時代にこそロータリーが必要なのだ！

◎『改革というのは「古いもの」をただ消すことではない』この意見にハッと気が付かされたので、「温故知新」と論語の言葉だがロータリーの原点を尋ねて、この新しい時代に相応する活動をするのではないか？ 即ち奉仕の理想に新世紀流の思いやりをプラスするとどうなる？

◎「心の奉仕活動を！」と言うご意見に頷く。物質的な奉仕活動に多少偏る傾向を危惧する声にも耳を傾けたい。

## 12. 今日までのロータリーライフを振り返って

(上段：人数、下段：%)

	地区	グループ												
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ロータリーに対する考え 12. 今日までのロータリーライフを振り返って	人生にプラス	1,372	82	105	169	150	159	134	105	73	112	94	99	90
		78	73	79	78	75	76	80	81	74	88	85	71	80
	可も不可もなし	351	16	26	43	50	47	31	24	23	14	20	37	20
		20	14	20	20	25	22	18	18	23	11	18	27	18

◎人生にプラスと答えた回答が78%で、可も不可もなしとの回答が20%であった。多くのロータリアンが人生にプラスと答えているところに、ロータリーの素晴らしさがあり、人生そのものにロータリーが働いているとさえ言える。この結果を踏まえてより一層ロータリーライフを楽しんでいけるように各クラブと会員は智慧を出し合って活動する事が望まれる。

◎人生の指標は、百人百様であるがロータリーから受けた影響は余りにも大きく將にロータリー活動が人生の方向を指し示した感がある。ポスターの標語に「今一度自己を眺めよ、他人を責める鋭さで」と書かれていた。人には厳しい自分も案外自分には優しいものである。思いやりの心そのものがロータリー活動であり、ロータリーライフである。

## 13. ロータリーに入っていることを誇りに思うか？

(上段：人数、下段：%)

ロータリーに対する考え	13. ロータリーに入っていることを誇りに思うか	思う												
		1,245	71	95	156	137	139	123	87	71	105	83	94	84
ロータリーに対する考え	思う	71	63	71	72	69	67	73	67	72	83	75	68	75
		464	27	35	56	57	63	41	42	23	21	30	43	26
	そうは思わない	26	24	26	26	29	30	24	32	23	17	27	31	23

◎我が地区としての回答は、思うが71%、そうは思わないが26%であった。本音と立て前と言うが、我が地区の会員諸氏はこのアンケートに本音で対応したか？ 立て前なのか？ 真摯に回答されていることを踏まえて考えたい。

◎私がロータリーに入会した当時は、先輩諸氏が機会の折りにロータリーの素晴らしさを述べて、ロータリーを熱く語っていたことを懐かしく思い出す。今は昔の話かも知れないが、今でもロータリアンであることに誇りを持っている方がいつまでも多くいて欲しいと念じています。

◎我が地区もロータリークラブも会員であることに誇りに思えるような、ロータリー運動を行う必要がある。

## 14. これからもロータリー活動を続けたいか？

(上段：人数、下段：%)

ロータリーに対する考え	14. これからもロータリー活動を続けたいか	これからも楽しみたい												
		794	39	54	97	82	91	78	63	40	64	74	61	51
ロータリーに対する考え	これからも楽しみたい	45	35	41	44	41	44	46	48	41	50	67	44	46
		675	34	59	77	78	82	58	52	44	49	55	53	34
	続けたい	38	30	44	35	39	39	35	40	45	39	50	38	30
		265	24	17	37	29	32	25	13	10	11	11	33	23
	機会があれば辞めたい	15	21	13	17	15	15	15	10	10	9	10	24	21

◎地区内全体にアンケートに参加された15%が、機会があればやめたいと考えている。悲しくも感じる。ロータリーの魅力が無くなってきたか？ それとも何が変わったのか？ 一業種一人制の看板がなくなったためか？ それだけではないかも知れない。

◎我が地区のロータリーは今会員が激減しています。この状況を克服するのは会員増強だけでは駄目かも知れない。今こそ退会防止でクラブを活性化してロータリーの魅力を再発見する必要があるように痛感する。

◎会員のロータリアンとしての向上が急務の声に頷く。各クラブが楽しい例会運営により入会者も増強される意見に同感する。

◎各クラブ会員に対するロータリー情報をいかに伝達するかも一考の価値あり。

# 地区活動 紹介

## ロータリーを越えて 広がるWCS活動



地区幹事 竹原 巖

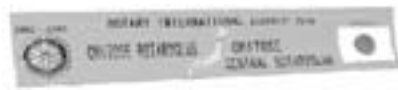
2001年に札幌北ロータリークラブが始めた、スリランカの病院に医療用中古ベッドを送る活動は、その後地区内の各クラブに広がり、更にロータリーを越えてライオンズクラブに広がりました。

ロータリークラブの世界社会奉仕活動は、札幌北RCが2001年3月に室蘭日鋼記念病院のベッド175台・その他の医療品334点を送ったのを皮切りに、6月に(株)ワタキウセイモア社より無償で提供された新品マットレス400枚を送り、同年9月には留萌市立病院より提供のベッド120台が送られました。これらの活動については「ガ

バナ月信」「ロータリーの友」また一般新聞各社でも取り上げられ、ロータリアンや一般市民にも広く知られるところとなりました。

2002年6月には室蘭RCが室蘭日鋼記念病院より提供されたベッド206台・マットレス257枚を送り、続いて7月に千歳RCと千歳セントラルRCの合同で千歳市立病院よりのベッド100台、札幌鉄道病院のベッド52台を札幌RCの協力で、また11月には札幌南RCが中村記念病院より提供されたベッド113台・マットレス257枚をスリランカに送られました。

これらの活動にライオンズクラブも共鳴し、国際協会331-A地区の6クラブが共同でベッド80台をスリランカにお送りし、先日の北海道新聞に記事として掲載されました。輸送方法・輸送先等についてはロータリークラブで実施したものが参考となり実施することが出来ました。1クラ



ベッド貼付シール

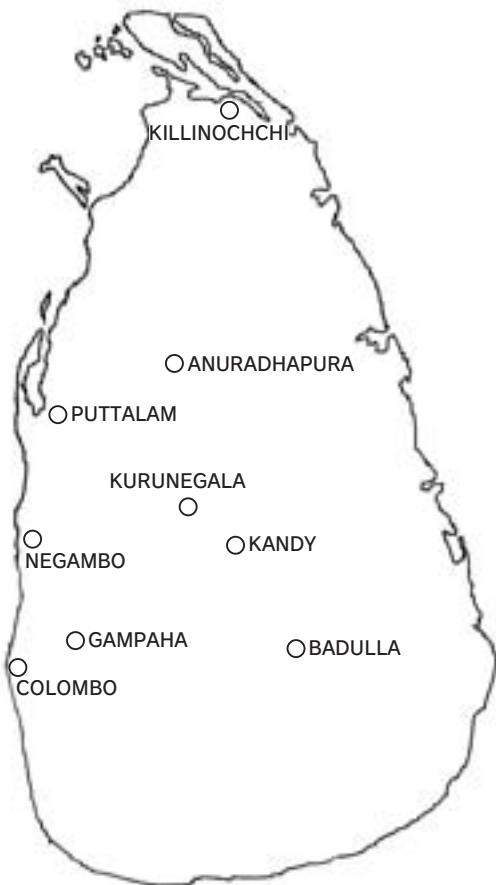
ブから始まった小さな活動が地区内に広がり、またロータリーを越えた活動に広がりつつあることに大きな意義を感じるとともに、その支援先もスリランカにとどまることなく、医療品不足に悩む世界各地に援助出来ることを願っております。

### スリランカの病院に ベッド80台を寄付へ

札幌(6)ライオンズクラブで  
【中央区】アカシヤラなども贈呈予定で、会員  
イオンズクラブを札幌(ならは「病院の運営に役  
市内の六つのライオンズクラブに「スリランカ  
クラブがスリランカの  
国立マハラジャ病院に、  
ベッド八十台を寄付す  
心地、コロンボ郊外で  
る。収納箱やマットレス  
が治療を専門とする同

病院を昨年、恵信会札幌  
病院の細川正夫理事長が  
不要になったベッドなど  
福祭、ベッド数が足りず  
入院者が廊下にマット  
を敷いている現状を知  
り、ライオンズクラブに  
協力を呼びかけた。ライ  
オンズクラブでは会員た  
ちは三月下旬に到着予  
定。今回の活動の代表徳  
川真智さんは「はじめて  
ベッドの寄付は、今後も継続  
したい」と話している。

ベッド・マットレスを贈呈したスリランカの地域



贈呈先一覧

地域	病院名	ベ ド	マ ツ レ ス	国内輸送担当
A.PURA	A. Pura GN.Hospital	10	10	Mr. Hewamadawa of Colombo RC
BADULLA	Mahiyanganaya Hospital	20	20	Shade Line
COLOMBO	Homagama	15	15	Midaya Ceramics
	Homagama	10	10	Munchee Ceylon Ltd
	General Hospital	0	6	Midaya Ceramics
	Padukka	5	5	Midaya Ceramics
	Castle	10	10	Mrs. Panabokke
	Ldy. Ridgeway	10	10	Mrs. Panabokke
	Kalubowila	20	20	Mount Lavania RC
	Ragama	6	6	Mr. Seneka of Tobacco Company
	Ragama	1	1	Mrs. Nanayakara
	General Hospital	6	6	Tobacco Company
General Hospital	0	3	Dr. S. Paranavithana	
Horana / Ingriya	20	20	Bodyline	
General Hospital	15	15	Mr. Ranjith jayawardene / Mr. Sunil	
Panadura Hospital	20	20	Unichela Pvt Ltd	
Colombo		5	5	Mr. Wilfred Wickramasinghe
GAMPAHA	Dompe	25	25	Liner Aqua Pvt Ltd
	Dompe	10	0	Rockland Distillers
	Negambo Hospital	10	10	Cutols Clothing Lanka Limited
	Minuwangoda Hospital	5	5	Cutols Clothing Lanka Limited
	Diwulapitiya	5	5	Cutols Clothing Lanka Limited
KANDY	Peradeniya	10	10	Midaya Ceramics
	Kandy Hospital	32	30	Mr. Seneka of Tobacco Company
	Kandy Hospital	1	0	Mr. Wadugodapitiya and Mrs. Peiris
	Manikhinna Hospital	10	10	Liner Clothing Pvt Limited
	Digana Hospital	10	10	Shade Line
KILLINOCHCHI	Killinochchi	6	6	Tobacco Company
KURUNEGALA	Ridigama, Gallagedara and Mavathagama Hospital	20	20	Casualine
		20	20	Texture Jersey Lanka Ltd
PUTTALAM	Puttalam Base Hospital	5	5	Tobacco Company
	Puttalam	5	5	Tobacco Company
	Puttalam	1	0	Mr. Disanayake of Tobacco Company

## 国別部会設置懇談会 開かれる



友情交換委員会  
委員長 金井重博

第2510地区の中では、クラブとして姉妹・友好クラブとの交流や特定国への支援などの活動が行われたり、個人として特定の外国との繋がりを持って活動したりと、様々な形で国際的な友情交換・交流活動が行われています。また、道や市町村でも外国の地域・都市との姉妹提携が盛んです。このような諸活動の情報を共有し刺激し合うことにより、第2510地区全体として、地区内および国際的な友情交換・交流活動が活性化することが期待されます。

そのために、特定国に関心のある会員どうしが集まって活動することが考えられますが、それはロータリーの活動として相応しいか、ロータリーの活動として効果的か、どのような活動が考えられるかなどなど、自由に御議論いただきたいと考えて国別部会設置懇談会を開催しましたので、報告します。

去る3月7日(金)午後6時~8時半、札幌パークホテルの羽衣の間で開かれ、石垣博美PG(関わりのある国:オーストラリア)、森本正夫PG(モンゴル)、米山道男地区幹事(札幌北)、青木功喜国際奉仕委員会委員長(札幌東、イタリア)、日下健三友情交換委員会委員(恵庭、オーストラリア)、池田春男(江別、ネパール)、岩崎輝明(札幌北、中国)、張相律(札幌東、中国)、井口光雄(札幌西北、フィンランド)、トーマス・クリステンセン(札幌南、デンマーク)、長谷川久夫(札幌セントラル、ロシア)、橋本信夫(札幌西、ザンビア)、戸部アナマリア(札幌はまなす、メキシコ)、山地庸夫(札幌手稲、ベトナム)、橋本雅夫(札幌セントラル、ロシア)の諸氏と友情交換委員会委員長金井重博(札幌南、オーストリア)が参加しました。



写真提供:長谷川久夫(札幌セントラルRC)

まず、金井が、懇談会開催の主旨説明をし、準備状況として、現在約20カ国について部会設立準備の世話人となっていただけの会員がいる、さらに多くの方に協力をお願いしている旨報告しました。また、4月12日の「国別部会に関するワークショップ」の開催予告をしました。

次に、出席者から外国との関わりを含む自己紹介があり、また、米山地区幹事から、活動のキーワードは「相互理解と相互支援」、活動の3本柱は「勉強、交流、支援(支援は、大掛かりなプロジェクトとは限らず、小さな親切運動でも価値がある)」が考えられることや会則案・活動計画案の説明がありました。

その後、活発な質疑応答が行われました。多くの参会者から設立賛成の意見が出されましたが、以下のような指摘もなされました。

1. 名称が活動内容を的確に表していない。3本柱のうち、まず「勉強と交流」が活動の中心となるべきなので、名称として、国別友情交換懇談会、国際友情交流会、ユニバーサル・フレンドシップ・ミーティングなどはいかがでしょうか。
2. ロータリー以外の国際交流団体との違い、ロータリーとしての視点を明確にする必要がある。
3. 地区の、他の国際関連委員会の活動との関係を明確にする必要がある。
4. 通信費などの活動費をどのようにして捻出するか。
5. 中国、アメリカ、ロシアは、将来、地域別に分ける方がよい。

## IMの開催断念について

第12グループ  
ガバナー補佐 川田憲秀



私はロータリークラブに入会して、かれこれ20年になります。今年度はたまたま、ガバナー補佐の役割をさせていただいております。ガバナー補佐は、IMを開催しなければならないと聞いておりました。就任とともに、どのような内容であるべきかを考えてきました。

過去の心に残っているIMを……「北の国から」の倉本聡さんの講演・社会奉仕や職業奉仕についてのパーストガバナーを助言者としての質問と指導……などが思い出

として強く残っていました。本来、会員が自由にロータリークラブについて語り合う最良の場であります。しかしながら、日本の大人社会では、たいへん難しいことです。あらかじめ質問を用意して、助言者の回答も用意しておくことが必要なのです。失礼な質問も差し控え、差し障りなく時間が消化されて成功となります。この問題の本質は、会員の年齢と意識の格差などによります。40代から80代までの年齢と意識の格差は極めて厳しいものがあります。

西欧の人たちは、ジョークを交え、実にユーモラスに議論をしています。私たち日本人が、そうなるにはしばらくの時間が必要なのでしょうか……結果として、費用の少なくすむ講師の記念講演を柱とすることで無難な内容にならざるを得ません。

昨年、「ポリオ撲滅」の事業が議論されてきました。十数年前、勝利宣言したはずだ……今になって何事だ……など等です。RIの説明によれば、内戦の続いた国々では、ワクチンの投与が出来なかった。今少しの子供たちにワクチンを投与できれば、地球上からポリオを撲滅できるのだと聞き、登録料・1万円で美味しいお酒と料理に感動できない私たちのIMとの挟間で考えました。

ちょうど、「アフリカの蹄」というテレビの映画を見ました。ノンフィクションとは思いましたが、南アフリカの人種差別の世界で、天然痘のウイルスを黒人社会に撒き、それを助けようとする日本人の医師〔留学生〕の活躍を描いた物語でした。感動と共にウイルスの恐ろしさを改めて感じました。一日も早く、子供たちを救ってあげたい……今、私たちに出来ること……日常生活において人類愛を実感できることは、なかなかありません。

このようなことで、長い歴史のあるIMを開催しないという決断には、勇気が必要でした。二十一世紀のロータリークラブは、少々裕福な人たちの仲良しクラブからの脱出ではないかと考えております。多くのご批判のあることを承知で、IMの開催を断念いたしました。ご理解をいただきますよう、心よりお願いいたします。



2002年度の奨学期間を修了した米山奨学生の歓送会が、去る2月22日札幌パークホテルで行われた。当日は、都合で出席できなかった3名を除く修了奨学生14名、世話クラブのカウンセラー12名、指導教官4名、地区役員8名の合計38名が出席し、伊藤長英財団理事からの祝辞の後、出席修了者に1人ずつ修了証が手渡され、また、世話クラブのカウンセラーへの感



謝状が、代表して札幌真駒内クラブの丸山淳士会員に贈呈された。

懇親会に入ってから、修了する米山奨学生1人1人から奨学期間の思い出とお礼、これからの進路に向けての抱負などが述べられ、IMの会場から駆けつけた小林ガバナーからの励ましの言葉の後に、名残を惜しみつつ閉会となった。



## ワークショップの予定 (2003年4月～6月)

みなさん 是非ご参加ください。申込はガバナー事務所へ。

### 第2回 詳細は『ガバナー月信』3月号参照

日 時：4月12日(土) 18:30～21:00  
 テーマ：「国別部会—ロータリー—友情交換・交流活動の活性化を目指して—」  
 会 場：札幌パークホテル  
 主 催：友情交換委員会・地区幹事会・国際奉仕委員会

### 第4回 詳細は『ガバナー月信』5月号参照

日 時：5月25日(日) 15:30～18:00  
 テーマ：「明日のエネルギー問題を考える」  
 会 場：北海道大学学術交流会館  
 主 催：地区幹事会・GSE委員会  
 北大明日のエネルギーを考える会

### 第3回 詳細は『ガバナー月信』5月号参照

日 時：5月9日(金) 18:00～21:00  
 テーマ：「家庭奉仕について考える」  
 会 場：函館国際ホテル  
 主 催：家庭奉仕委員会

### 第5回 詳細は『ガバナー月信』6月号参照

日 時：6月21日(土) 14:00～17:00  
 テーマ：「大人は子ども達のために何が出来るか」  
 会 場：ホテル万世閣 (洞爺湖温泉)  
 主 催：洞爺湖RC・地区幹事会

## 医療法人社団 近藤整形外科

(スポーツよろず相談室)

近 藤 浩

郵便番号 062-0042 札幌市豊平区福住2条1丁目3-16 電話 代表 (011) 851-3131

(札幌南ロータリークラブ)

# 米山財団への寄付状況一覧表

2003年2月28日現在 (単位：円)

クラブ名	1月末 会員数	年 額 一名当り	2002/07月-2003/02月 年度入金額			一名当り寄付実績額
			普通寄付金	特別寄付金	合計	
赤平	37	2,000	74,000	480,000	554,000	14,973
芦別	58	4,000	236,000	20,000	256,000	4,414
美唄	47	3,000	142,500	390,000	532,500	11,330
千歳	76	2,000	148,000	0	148,000	1,947
千歳セントラル	34	2,000	67,000	76,000	143,000	4,206
伊達	56	3,000	163,500	300,000	463,500	8,277
江別	49	4,000	198,000	370,000	568,000	11,592
江別西	41	4,000	164,000	0	164,000	4,000
恵庭	49	3,000	148,000	300,000	448,000	9,143
えりも	28	4,000	108,000	100,000	208,000	7,429
江差	20	2,000	42,000	0	42,000	2,100
深川	44	3,000	135,000	790,000	925,000	21,023
羽幌	48	2,000	95,000	90,000	185,000	3,854
函館	105	3,000	309,000	0	309,000	2,943
函館五稜郭	71	2,000	142,000	310,000	452,000	6,366
函館東	66	4,000	266,000	310,000	576,000	8,727
函館亀田	53	2,000	104,000	0	104,000	1,962
函館北	47	2,000	93,000	30,000	123,000	2,617
岩見沢	102	2,000	199,000	910,000	1,109,000	10,873
岩見沢東	34	2,000	67,000	0	67,000	1,971
岩内	37	2,000	37,000	160,000	197,000	5,324
上磯	34	2,000	68,000	0	68,000	2,000
北広島	15	2,000	16,000	0	16,000	1,067
栗沢	33	3,000	100,500	225,000	325,500	9,864
栗山	33	3,000	51,000	0	51,000	1,545
倶知安	53	2,000	107,000	0	107,000	2,019
松前	8	1,000	8,000	0	8,000	1,000
三石	19	4,000	78,000	50,000	128,000	6,737
森	49	2,000	100,000	0	100,000	2,041
妹背牛	12	4,000	48,000	0	48,000	4,000
室蘭	62	4,000	260,000	0	260,000	4,194
室蘭東	53	4,200	226,800	810,000	1,036,800	19,562
室蘭北	51	3,000	78,000	0	78,000	1,529
長沼	18	4,000	72,000	0	72,000	4,000
七飯	32	3,000	96,000	0	96,000	3,000
登別	40	4,000	160,000	510,000	670,000	16,750
小平	17	4,000	30,000	0	30,000	1,765
長万部	12	3,000	33,000	0	33,000	2,750
小樽	95	3,000	286,500	282,500	569,000	5,989
小樽南	88	2,000	172,000	1,870,000	2,042,000	23,205
小樽銭函	20	2,000	40,000	0	40,000	2,000
蘭越	18	2,000	36,000	0	36,000	2,000
留萌	66	3,000	202,500	170,000	372,500	5,644
様似	23	3,000	70,500	0	70,500	3,065
札幌	128	3,000	372,000	325,000	697,000	5,445
札幌あけぼの	18	4,000	74,000	60,000	134,000	7,444
札幌はまなす	29	3,000	87,000	0	87,000	3,000
札幌東	122	3,000	369,000	920,000	1,289,000	10,566
札幌北	57	3,000	172,500	600,000	772,500	13,553
札幌清田	28	3,000	81,000	110,000	191,000	6,821
札幌幌南	83	3,000	256,500	400,000	656,500	7,910
札幌真駒内	48	3,000	147,000	1,100,000	1,247,000	25,979
札幌南	97	4,000	388,000	450,000	838,000	8,639
札幌モーニング	62	4,000	246,000	100,000	346,000	5,581
札幌西	76	3,000	226,500	551,017	777,517	10,230
札幌大通公園	17	1,500	30,000	0	30,000	1,765
札幌西北	54	3,000	160,500	700,000	860,500	15,935
札幌手稲	49	4,000	202,000	120,000	322,000	6,571
札幌セントラル	24	1,500	36,000	0	36,000	1,500
新札幌	41	3,000	123,000	350,000	473,000	11,537
白老	35	2,000	69,000	0	69,000	1,971
静内	68	2,000	136,000	600,000	736,000	10,824
砂川	58	3,000	91,500	300,000	391,500	6,750
滝川	113	4,000	440,000	430,000	870,000	7,699
苫小牧	69	3,000	205,500	0	205,500	2,978
苫小牧東	34	2,000	67,000	99,745	166,745	4,904
苫小牧北	50	4,000	202,000	709,517	911,517	18,230
当別	46	3,000	138,000	0	138,000	3,000
洞爺湖	13	2,000	28,000	100,000	128,000	9,846
浦河	39	3,000	61,500	60,000	121,500	3,115
余市	48	3,000	72,000	0	72,000	1,500
由仁	18	0	0	0	0	0
その他		0	0	0	0	0
	3,477		9,759,300	16,638,779	26,398,079	7,592

## クラブ活動 紹介

### 冬の北海高校IAC活動

矢橋潤一郎(札幌東RC)

今年度、北海高校IACは41名の部員を擁する大所帯となりました。卒業する3年生部員は4名。春の新入生の入部でさらに増える見込みです。

#### ■札幌東RC年末家族会収集コーナー

12月19日、提唱RCである札幌東RCの年末家族会において、古着や使用済み切手等を受け付けたところ、多数の品々が寄贈されました。当日は部員20名が最近の活動を書いたパネルを掲げ、PRのピラも配布しました。

#### ■カレンダーリサイクル

1月6～8日、毎年恒例のカレンダーリサイクル市に今年も参加しました。かでの2・7と札幌国際プラザに分かれ、分類作業・店舗設営から販売までお手伝いしました。



#### ■車椅子観光ボランティア

2月5～7日、さっぽろ雪まつりを足の不自由な方々に楽しんでいただけるよう車椅子を支えるなどのお手伝いをしました。部員は事前に車椅子を体験し



ましたが、多くの観光客でごった返す中、雪道を車椅子で移動することの難しさを実感していたようです。

#### ■独居老人宅除雪奉仕

2月23日、札幌市内豊平地区において、一人暮らしの高齢者のお宅前を中心に除雪作業を行いました。毎年恒例の活動になっております。



尚、札幌東RC新世代委員会ホームページ(<http://rotary-under30.infoseek.ne.jp>)では北海高校IACの活動状況を画像と共に紹介しております。

### 江別スノーフェスティバル&マシュマロンピック 開催

宍戸 昭(江別西RC)

冬の日の一日「雪を友達に」のテーマに、毎年開かれている「江別スノーフェスティバル&マシュマロンピック」が今年も2月8日～9日の両日開催されました。



江別の街中、公園、そして家々の前を雪像とアイスキャンドルで飾ろうという催しです。

江別西ロータリークラブも例年、メイン会場にて、その年のテーマを決め、会員全員一週間程雪像造りに汗を流しました。

昨年は、Wカップ・世界大会をテーマにし、今年は、コンサドーレと日ハムのホーム会場となる「札幌ドーム」

を製作しました。毎日夕方6時頃から寒い中、汗を流しながら造った雪像にすこし満足。当日は1万人以上の親子が参加し、楽しい一日を過ごしました。

### 眠っている中古ピアノを蘇らせよう!

松井久男(函館東RC)

弾いてくれる人が誰もいない……  
家庭で眠っているピアノが数多くあることは皆さんご存じでしょうか。  
私たち函館東ロータリークラブではそんな中古ピアノを希望する施設へ寄贈する橋渡しの事業を行っております。

まず平成13年10月22日、ピアノの提供者宅より搬出し、函館市人見保育園へ寄贈致しました。この日は生憎の悪天候となり作業も困難を極めました。ピアノ設置後に園児たちからのお礼として中古ピアノの伴奏で歌のプレゼントを頂き私達もたいへんうれしく思いました。



次に同日ピアノ教師宅より搬出し、今度は渡島合同庁舎1階「道民ホール」へ設置致しました。この後11月20日にこの中古ピアノを使い「道民ホール初冬コンサート ピアノとうたの夕べ」を開催致しました。広々としたホールでの演奏会。後町久子さんによるピアノ伴奏で、島聖子さんが澄んだソプラノで歌いました。200人程の聴衆はその歌声とピアノの音色に魅了されました。

また12月10日には先ほどの人見保育園に於いて「ほうすけのひよこ 一歌ものがたりコンサート」が開催されました。

次に2月17日、事前に寄贈してありました北海道教育大学附属函館中学校で記念コンサートが開かれました。第1部が社会学級合唱サークルによる合唱、そして在校生によるフルートとクラリネットがそれぞれピアノ伴奏と共に演奏されました。



第2部は、函館在住のピアニスト伊藤亜希子さんのピアノコンサートが行われました。生で、それも目の前でダイナミックな演奏に345人の生徒、その他50人程の先生、父兄、RCメンバーもかなり圧倒されてしまいました。

今後の予定として、3月26日に市立旭岡中学校、同時期に渡島コロニー付属施設ワークショップ「虹」へ寄贈予定となっております。

今後も希望がありましたら随時実施していく予定であります。



## 優良青少年を表彰

新世代委員会 (えりもRC)

当クラブは、このほど例会の席上で、今春えりも高校を卒業した4人を優良青少年として表彰した。

これは、1997年から青少年健全育成の一環として、地域の模範となる青少年を表彰している事業。

今回表彰されたのは、3年間無遅刻



無欠席だった植木亮統さんと石橋由香さん、高体連の全道大会に日高地区代表として出場した女子バレーボール部の主将、瀬野明日香さん、交通安全啓発やボランティア活動などに積極的に参加した川村祐さん。

表彰式には、就職や運転免許取得などで3人が欠席、札幌の専門学校へ進学する川村祐さんのみの出席となったが、荒木会長から表彰状と記念品が贈られた。

川村君は「受賞を励みにして、これからも勉強に努めます」と力強く感謝と決意の言葉を述べ、会員から祝福の拍手を受けた。

## 本年度二度目の公式訪問をおえて

久住八郎 (栗山RC)

昨年7月の公式訪問の際に、小林ガバナーへ2月25日の夜間例会に是非来てくださると依頼しましたら、ガバナーが手帳をとりだしまして、日程が空いている事を確認、是非栗山にきていただきたいとお願いいたしましたら、ガバナーにも心よく承諾を頂きました。

ちょうど第三グループの会長・幹事会議を栗山で開催することになり、ガバナー公式訪問、会長幹事会議、夜間例会をいっしょに開催することになりました。メンバーからはいままでにやったことがない、ガバナーが二度も来るのかなど色々声がかかってきましたけれど、ガバナーの言われるビジョンよりもアクション。メンバーの方々にも看板を制作、会場の準備、積極的に活動をしていただきました。とくに、小林米三郎会員 (小林酒造会長) からは数回のご指導を頂きました。利国奈美子会員からは、豚汁と煮染めをつくりますと積極的発言を頂きました。栗山ロータリーメンバーのチームワークの良さ、第三グループの辻野ガバナー補佐のリーダーシップに感心しました。



小林清志さんの「酒と料理の相性」の話

5時から開く会長・幹事会議の10分前の4時50分には、全員が集まりましたので会議が開催されました。そうすることによって、会議の内容がしまりました。遅れて、開催された会議はただらと内容もしまらないことが多いようです。その点、第三グループに感心いたします。

小林ガバナーと事務所へありがとう。小林ガバナーから「送迎の予定をしているようでしたら、送迎の事は準備で忙しいので気をつかわないでください。岩見沢までJRでゆき、岩見沢ロータリー小林弘明会長と同行いたし



左から小林米三郎会長と小林G、辻野AG

ます」との連絡、ガバナーの気配りに感心いたします。せめて帰りは栗山でお送りいたしますと伝えましたら、事務所の阿部さんから、「岩見沢東ロータリークラブ坂田知樹会長の自宅が札幌で、ガバナーの家の前を通って帰りますので、坂田さんをお願いしてよろしいですか」との連絡。阿部さんもガバナー、会員のことを心配しての配慮ありがとうございました。多くの人の心の温かさを感じました。これからも多くの人の縁を大切に考えております。また夜間例会での小林清志さんのお酒と料理相性、お酒の種類などの卓話はとても上手で参考になりましたと、好評でした。

4月12日（土）13日（日）に北の錦の小林酒造と谷田製菓（日本一のきびだんご）2社による蔵まつりが開催されます。おいしいお酒が用意されていますので来てください。

## えりも小校長を招き卓話

広報委員会（えりもRC）

当クラブでは、毎年数名の外部講師を招いて卓話をお願いしているがこのほど、町内のえりも小学校校長・根城健さんに卓話をしていただいた。

根城さんは、1981年から1984年までの3年間、フィリピンのマニラにある日本人学校に勤務した経験をもとに、当時のフィリピン国の概要や日本人学校の状況、日常生活と治安、戦争との関わり、シスター海野氏との出会いなどを柱に40分程話した。



根城さんの勤務した学校の生徒は商社や大使館の子息が多く、親達も教育熱心で、指導上問題のある子供は皆無であったが、治安が悪いためビレッ

チ（囲いのある住宅街）というところに住み、24時間警備された生活をしたとのこと。

また、フィリピンは太平洋戦争とは切っても切れない関わりを持った国で、戦車の残骸や崖に穴が掘られた防空壕が沢山残っており、住民感情もあり、戦争の話は禁句となっていることを語った。

最後に3年間の最大の思い出として、明治末期にマニラからバギオまでの「ケノン道路」の完成に尽力した日本人の子孫の調査をしていた、シスター海野氏の出合いに触れ、80周年記念誌の「日本語版」の編集に携わったことなど、すばらしい出会いを得たことと、生徒を教育する上で多くのことが役立っていると貴重な3年間を熱っぽく語った。

## 創立20周年記念事業で 車椅子財団並びに パベナ基金へ寄付金を送る

金子賢一（岩見沢東RC）

我が岩見沢東RCは、昭和58年6月28日全道で初めてのアデショナルクラブとして会員22名で誕生し今年度創立20周年を迎えることになりました。

この20年間、地域に根ざした活動を基軸にロータリー精神を前面に色々な活動・提案を繰り返し大きく前進しております。

今年度、RI会長（ビチャイル・ラタクル）のテーマ慈愛の種を播こう！を中心に、地域に向けて・世界に向けて岩見沢東RCも活動を続けロータリーに与えられた責務を何かの形に変えたいとの思いであります。

この20周年を迎えるにあたり、地区国際奉仕委員長青木功喜委員長・世界社会奉仕委員長土谷裕之委員長と連絡を取り合い、20周年実行委員会・並びに会員と検討しWheelchair Foundationに車椅子を記念事業として\$3,750を寄付送金させていただきました。

また、もう1つの記念事業と致しまして、パベナ基金（幼児虐待防止施設）に対しても30万の金額を拠出させていただきました。なお、4月4日にタイへ岩見沢東RCより、8名の会員が出向き贈呈式を敢行致します。これらの事業に対して土倉委員長には過大なるご尽力を頂いたことに感謝申し上げます。

岩見沢東RCは現在34名の会員で会を運営しておりますが、会員相互の友情に支えられながら未来あるクラブ作りに邁進しております。

この事業を機に世界平和を願い、貧困・幼児虐待等に対してもっと積極的に物事に取り組みロータリー活動を続けていくところでございます。

## クラブの ちょっといいはなし

高井悌吉（札幌はまなすRC）

戸部アナマリア会員は、わがクラブの『広告塔』的存在で、ロータリアンとしての活動（クラブ内外）は周知の通り。「はまなすBOX」の提唱者でもあり、ニコニコBOXと並んで実績を挙げ、クラブ運営に役立っている。

メキシコ出身だが、日ごろの言動は「日本人以上に日本的」ということでも、つとに有名。3月4日の例会では日本の各種イベントで、昔ながらの伝統が次第に薄れてゆくのは残念、と言いつつ、「ひなまつり 日本の伝統 いつまでも」、またメキシコにはひなまつりという言葉はないということで、「HINAMATSURIFIESTA DE LAS NINAS TRADICION JAPONESA AHORA Y POR SIEMPRE」と一句を詠み上げ、はまなすBOXに……

クラブではかねてから佐藤・熊谷会員らが俳句・川柳の一句を添え、浄財を寄せているが、戸部会員も加わり、北川会長は「段々、わがクラブのBOXも国際色が出てきた」と歓迎、この日は戸部会員の一句が感動を呼び、大きな拍手が沸きあがっていた。



# 会員の声



## RI会長歓迎会に思う

北川敏夫  
(札幌はまなすRC)

ビチャイ・ラタクル国際ロータリー会長が4月に来札され歓迎会を行うことは、月信・クラブにそして第4・5グループIMの時にも案内されました。

現職のRI会長の来札は1988年以来15年ぶりということであり、またビチャイ・ラタクル会長は是非北海道を訪問したいという希望があり、来札が実現したとお聞きしております。したがって歓迎会には第2500地区の会員の方々も一緒に、多くの会員が参加し北海道全体で歓迎の意を表したいものだと思っております。

しかし、クラブ会員の数人より歓迎会のあり方について疑問を寄せられました。それは現職のRI会長の歓迎会の主催者が現職のガバナーでなく、何故特定の2クラブなのかということ。特定クラブの合同例会の歓迎会に、何故2500地区の会員の方々や地区内他のクラブ会員皆さんがメイクアップという形の参加となるのでしょうか？

ガバナーは地区における唯一のRI会員であると聞いております。私もその唯一のRI役員が現職のRI会長の歓迎会的主催者になることは当然至極のことと思われ、会員からの疑問に答えることが出来ませんでした。歓迎会への参加も会員に強く要請出来ずに苦慮して

おります。地区運営もロータリー精神にもとずいた、明朗・公平なものであってほしいものと願うばかりです。



## IMに参加して

ーパネラーの発言に感銘ー

高井悌吉  
(札幌はまなすRC)

2002～2003年度国際ロータリー第2510地区の第4・5グループ合同IMに参加、例年にない盛り上がりを見せ、胸にこみ上げるものがありました。土橋信男前札幌市教育長の基調講演、「慈愛の種は家庭から」に始まり、4人のパネリストとのディスカッションを通じて感動の連続でした。

特に印象的だったのは、池上公介パネラー（池上学院学院長、札幌モーニングRC会員）の「登校拒否児の訓練を通じて家庭のあり方を考える」は私の実体験とオーバーラップするものであり、琴線にふれる思いがいたしました。

私は軍国少年（戦争を美化するものではない）として戦中育ち。このため進学することなく一時期を過ごしたが、先祖崇拜、礼節、食生活の事など、家庭教育全般についての大切さを自然に身につけた。これは周囲の人たちも同様でありました。

戦後になって、戦中すでに中等教育を受けていた姉・兄に刺激されて私も3年遅れて独学で大学に進み、まだ戦後復興半ばの東京で修学後は北海道にU

ターン。企業戦士として私なりに活動してきました。

今から26年前に中国へ研修旅行の旅の機会を得たが、その時の中国の子ども達をレポートした「見た！中国の底力」の一部を紹介すると

—物質文明にどっぷりつきりきった日本。戦中戦後をはさみ、激動と混乱の中で育った私の少年時代は「質実剛健」の教育でもあったこの言葉は、戦後育ちの人には、いい響きを持たないかもしれないが、いま「質実剛健」の教育は欧米にさえ、お株を奪われているという。そして「知・徳・体」に力をいれているという少年達の教育その子ども達の姿を見たとき、現在の私たち（日本の）の生活のあり方について反省させられた—

このレポートと同様の事例はカナダ、ロシアの取材旅行でも痛感、日本の将来に少なからず不安を覚えた。

池上パネラーによる不登校児の問題は、こうした暖衣飽食の時代（現在も）を過ごした親たちの“背”をみて育ててきたもので親の責任は大と言えましょう。

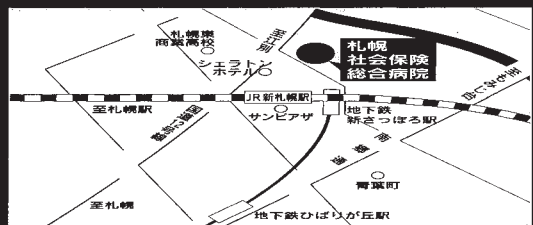
私は現役時代、PTA、老人大学などで講演のおり、青少年問題を多々訴えてきたが、池上パネラーの考え方と共通するものがありIMの討議の中で発言したかったが、一昨年脳梗塞を患って以来、失語症となり人前でのお話は苦手で発言のチャンスを失い残念至極の限り、一筆したためた次第です。

## 札幌社会保険総合病院

# 健康管理センター

### 健康診断

- 生活習慣病予防健診
- 人間ドック（日帰り・一泊二日）
- すこやか健診（札幌市の健診）
- 法定健診（企業検診・入学や入社での健診など）
- 各種がん健診（胃・腸・肺・子宮・乳房など）
- その他 動脈硬化 脳ドック 骨粗鬆症



札幌市厚別区厚別中央2条6丁目2-1  
札幌社会保険総合病院 2階

TEL.011-893-5881

<http://www.zensharen.or.jp/sapb/public.html/home.htm>

## 掲示板

### 例会変更

留萌RC	4月 2日(水) 休会*1
	4月 9日(水) 夜間例会 18:30
江別RC	4月29日(火) 休会*2
岩見沢東RC	4月29日(火) 休会*2
当別RC	4月29日(火) 休会*2
室蘭RC	4月30日(水) 休会*1
苫小牧東RC	4月10日(木) 夜間例会「麻雀大会」
苫小牧北RC	4月29日(火) 休会*2

注) \*1 定款第5条第1節に基づく休会  
\*2 法定休日による休会

### 2003年 地区協議会開催のご案内

日 時 2003年4月19日(土)  
登録開始:午前8時45分 本会議開始:午前9時15分  
場 所 千歳市民文化センター(地図を同封致します)  
(千歳市北栄2丁目2-11 電話 0123-26-1151)  
お問合せ先 国際ロータリー第2510地区ガバナー・  
エレクト事務所  
〒066-0041  
千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2階  
電話 (0123) 42-2000  
FAX (0123) 42-2009

## 第7回「ロータリー日韓親善会議」開催のご案内

日 時: 2003年9月25日(木)と26日(金)  
場 所: 東京ベイホテル東急(東京ディズニーリゾート)  
千葉県浦安市舞浜1-7 TEL 047-355-2411  
記念事業: 韓国からの米山記念奨学生と日本の学友による意見交換  
主 催: 日韓親善委員会  
登 録 料: ロータリアンとその家族1名18,000円  
宿泊案内: 東京ベイホテル東急  
9月24日は150部屋、25日は200部屋、26日は100部屋を準備しております。  
宿泊料金お一人(朝食・サービス料込);  
1室2名さまご利用の時¥12,000  
1室1名さまご利用の時¥20,000  
以上の5%が加算されます。

参加希望者は、事前に人数確認を致しておりますので、4月20日までにガバナー事務所へお知らせ下さい。

tel.011-219-2510  
fax.011-222-1526

## 第2回ロータリー囲碁全国大会・第4回囲碁国際大会のご案内

第2750・2580地区共催の「第2回全国囲碁大会」と、ロータリー囲碁同好会主催の「第4回囲碁国際大会」が、東京RCのホストによって下記要領にて同時開催されます。  
囲碁を通じて親睦と国際交流を図ることがこの大会の趣旨ですので、級・段位を問わずクラブ内の囲碁好きの会員皆様にご参加いただきたく存じます。  
参加希望の方は詳細をお知らせ致しますので、  
ガバナー事務所(Tel.011-219-2510)へご連絡下さい。  
なお、大会参加はメイクアップとなります。

日 時 5月17日(土) 5月18日(日)  
12:30 親睦自由対局 19:00 予選  
16:00 開会式・予選 13:00 決勝戦・開会式  
19:00 懇親会  
大会会場 日本棋院(JR市ヶ谷駅3分)  
登 録 料 GPFR会員 12,000円  
申込締切 4月30日(全国大会)・5月12日(国際大会)

## 討 報

上田 智夫 会員  
(室蘭RC)  
平成15年2月17日  
ご逝去(享年75歳)



《ロータリー歴》  
1970年 入会  
1978-79 副会長  
1982-83 37代会長  
各委員長歴任  
ポールハリスフェロー

## 事務所だより

- 毎月の会員数および出席率の報告は、最終例会終了後15日以内です。期日の厳守をお願い致します。
- 月信への原稿をお寄せ下さい。特にクラブ活動、会員の声へのご投稿をお待ち致します。  
投稿の際には、スナップ写真も添えてください。
- 4月のロータリーレートは、122円です。

## 国際ロータリー第2510地区 2002-2003年度 ガバナー月信

発行人 2002-2003年度ガバナー 小林 博  
発行元 国際ロータリー第2510地区  
2002-2003年度ガバナー事務所  
発行日 毎月1日発行 年12回  
編集委員 ◎竹原 巖(地区幹事) 大田すみ子(地区幹事)  
熊谷 満(地区幹事) 脇田 稔(地区幹事)  
アドバイザー 米山 道男(地区幹事) 松木 新(アイワード)  
事務局 札幌市中央区大通西6丁目 北海道医師会館6F  
TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526 E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp  
印刷: (株)アイワード TEL241-9341

# 1月会員増減数・出席率報告

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			出席率
			02.7.1	03.2.28	増減	
1	川	3	46	44	-2	87.00
	深羽	4	47	48	1	86.97
	妹背	4	12	12	0	77.08
	小平	4	15	17	2	67.65
	小留	4	69	66	-3	90.51
	計		189	187	-2	81.84
2	赤平	3	37	37	0	86.48
	芦別	4	60	58	-2	95.81
	砂川	4	61	58	-3	96.17
	滝川	4	108	114	6	70.00
	小計		266	267	1	87.12
3	美瑛	4	48	47	-1	85.22
	江別	4	50	49	-1	87.76
	別	3	41	41	0	93.18
	岩見	3	97	102	5	90.24
	岩見	3	33	34	1	83.33
	東	3	35	33	-2	87.88
	山	3	34	33	-1	97.92
	当別	3	46	46	0	90.58
	小計		384	385	1	89.51
	札幌	4	120	128	8	98.61
4	札幌あけぼの	3	19	18	-1	100.00
	札幌はまなす	3	29	29	0	73.56
	札幌北	3	58	57	-1	91.66
	札幌モーニング	4	61	63	2	78.28
	札幌西	4	75	76	1	93.79
	札幌西北	4	52	53	1	93.04
	札幌手稲	4	52	49	-3	98.98
	小計		466	473	7	90.99
	札幌東	4	123	123	0	99.33
	札幌清田	3	26	28	2	97.43
5	札幌南	4	88	85	-3	100.00
	札幌真駒内	4	50	48	-2	97.21
	札幌南	3	97	97	0	96.47
	札幌	4	42	41	-1	94.08
	札幌大通公園	4	17	18	1	83.55
	札幌セントラル	3	0	21	21	87.30
	小計		443	461	18	94.42
	岩内	4	37	37	0	75.49
	倶知安	4	54	53	-1	82.00
	小樽	4	96	94	-2	90.87
6	小樽	4	86	88	2	90.24
	小樽銭函	4	20	20	0	81.25
	小樽	3	18	18	0	81.25
	余市	4	49	48	-1	89.55
	小計		360	358	-2	84.38

クラブ数 72クラブ  
 期首会員数 3,458人  
 当期末会員数(女性) 3,464人(98人)  
 増加会員数 6人  
 当月平均出席率 84.44%

グループ	クラブ名	例会数	会 員 数			出席率
			02.7.1	03.2.28	増減	
7	千歳	4	74	76	2	85.50
	千歳セントラル	4	33	35	2	77.80
	恵庭	4	50	48	-2	81.80
	北広島	4	16	15	-1	92.86
	長沼	3	18	18	0	84.60
8	由仁	3	18	18	0	68.06
	小計		209	210	1	81.77
	えりも	4	27	27	0	80.56
	三石	3	20	19	-1	94.73
	様似	3	24	23	-1	91.00
	静内	4	68	67	-1	85.77
	浦河	3	41	37	-4	81.94
	小計		180	173	-7	86.80
	伊達	3	53	56	3	78.57
	室蘭	4	66	59	-7	90.16
9	室蘭東	3	56	53	-3	93.75
	室蘭北	3	52	51	-1	93.46
	登別	4	40	40	0	85.00
	洞爺湖	4	14	13	-1	93.00
	小計		281	272	-9	88.99
10	函館	4	101	102	1	73.17
	函館亀田	3	51	53	2	73.72
	森	4	51	49	-2	64.50
	七飯	3	33	32	-1	82.00
	長万部	4	11	12	1	64.50
11	小計		247	248	1	71.58
	江差	3	20	20	0	60.00
	函館五稜郭	3	71	71	0	79.24
	函館東	3	67	65	-2	79.45
	函館北	4	46	47	1	73.99
	上磯	4	34	34	0	61.00
	松前	4	8	8	0	69.00
	小計		246	245	-1	70.45
	白老	4	34	35	1	80.00
	吉小	4	68	66	-2	82.41
12	吉小	4	33	34	1	85.29
	吉小	3	52	50	-2	94.07
	小計		187	185	-2	85.44
	合		3,458	3,464	6	84.44

## 4・5月地区カレンダー

4月 ロータリー雑誌月間			5月		
日	曜日	行 事	日	曜日	行 事
1	火		1	木	
2	水		2	金	
3	木		3	土	
4	金		4	日	
5	土		5	月	
6	日		6	火	
7	月		7	水	
8	火		8	木	
9	水		9	金	第3回ワークショップ(函館国際ホテル、18:00~)
10	木		10	土	美唄RC30周年式典美唄スエヒロ(14:30式典 16:30懇親会)
11	金		11	日	
12	土	第2回ワークショップ国別部会(札幌パークホテル、18:30~)	12	月	
13	日		13	火	
14	月		14	水	
15	火	04-05年度R財団国際親善奨学生募集締切	15	木	
16	水		16	金	
17	木		17	土	岩見沢東RC20周年式典(岩見沢平安閣 15:00~)
18	金		18	日	
19	土	地区協議会(千歳市民文化センター、9:00~)	19	月	
20	日		20	火	
21	月		21	水	
22	火		22	木	
23	水		23	金	
24	木	千歳RC35周年記念式典(千歳全日空ホテル、15:30~)	24	土	第1・2グループIM(赤平市民会館、13:00~)
25	金	ピチャイ・ラタクルRI会長歓迎会(札幌パークホテル、12:00~14:00)	25	日	
26	土		26	月	
27	日		27	火	
28	月		28	水	
29	火		29	木	
30	水		30	金	
			31	土	プリズベン国際大会、北海道ナイトパートI 第30回ローターアクト地区大会(キング・ムー、16:00~)

# 倶知安町



撮影：赤塚裕子氏

## カタクリの花

春に倶知安の旭ヶ丘公園及び羊蹄山のふもとで一面に咲くのが見られる。



撮影：赤塚裕子氏

## 羊蹄山

標高1,898mで日本百名山にもなり、別名蝦夷富士といわれる。江戸幕府の測量方がこの山に登り、周辺の測量を行い、江戸幕府発行『後方蝦夷記』に当時の周辺の状況が記載されている。



## ご意見・投稿募集

『ガバナー月信』では、より会員の皆様の声を反映させた誌面づくりを行ないたいと考えております。『月信』に関するご意見・投稿などございましたら下記事務局へ。

事務局 札幌市中央区大通西6丁目  
北海道医師会館6F

TEL 011-219-2510 FAX 011-222-1526

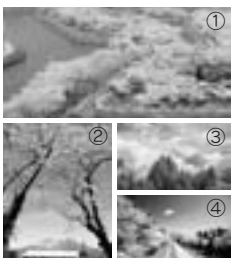
E-mail scs-hk@phoenix-c.or.jp



国際ロータリー第2510地区 DISTRICT 2510 of ROTARY INTERNATIONAL

# GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER 2003 【ガバナー月信】



### 表紙の写真説明

- ①五稜郭公園 撮影：小安土達郎会員(函東RC)
- ②森町青葉ヶ丘公園 撮影：水本鉄雄氏
- ③松前町第二公園
- ④静内町二十間道路桜並木